

2016 年度

歯学部研究年報



明海大学

MEIKAI UNIVERSITY

目 次

	頁
形態機能成育学講座	
解剖学分野	1
口腔解剖学分野	4
生理学分野	5
口腔小児科学分野	8
歯科矯正学分野	11
口腔生物再生医工学講座	
生化学分野	17
微生物学分野	19
歯周病学分野	21
基礎化学分野	27
機能保存回復学講座	
歯科生体材料学分野	29
歯科補綴学分野(有床義歯)	31
歯科補綴学分野(クラウン・ブリッジ)	34
保存治療学分野	38
オーラル・リハビリテーション学分野	40
摂食嚥下リハビリテーション学分野	42
基礎物理学分野	43
病態診断治療学講座	
病理学分野	44
薬理学分野	47
総合臨床歯科学分野	54
歯科放射線学分野	56
口腔顎顔面外科学分野(I)	60
口腔顎顔面外科学分野(II)	64
高齢者歯科学分野	68
歯科麻酔学分野	70
歯科法医学分野	74
社会健康科学講座	
口腔衛生学分野	77
スポーツ歯学分野	80
医療情報科学分野	81
障がい者歯科学分野	82
基礎数学・統計学分野	84
総合臨床医学講座	
内科学分野	85
眼科学分野	86
特別研究室	
M P L (Meikai Pharmaco-Medical Laboratory)	87

形態機能成育学講座

解剖学分野

口腔解剖学分野

生理学分野

口腔小児科学分野

歯科矯正学分野

解剖学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Sakagami H, Okudaira N, Masuda Y, Amano O, Yokose S, Kanda Y, Suguro M, Natori T, Oizumi H, Oizumi T: Induction of apoptosis in human oral keratinocytes by doxorubicin. *Anticancer Res*, 37: 1023-1030. 2017. 3
- 2) Kawabe Y, Mizobe K, Bando Y, Sakiyama K, Taira F, Tomomura A, Araki H, Amano O: Morphological changes of myoepithelial cells in the rat submandibular gland following the application of surgical stimuli. *Acta Histochem Cytochem*, 49: 159-169. 2016. 12
- 3) Rodríguez-Vázquez JF, Sakiyama K, Abe H, Amano O, Murakami G: Fetal tendinous connection between the tensor tympani and tensor veli palatini muscles: A single digastric muscle acting for morphogenesis of the cranial base. *Anat Rec*, 299(4): 474-483. 2016. 4

2. 総説

- 1) 天野 修, 坂東 康彦, 崎山 浩司: 舌の不思議. *小児歯科臨床*, 21(12): 18-26. 2016. 12
- 2) 天野 修: 第三の手・舌. *小児保健研究*, 75(6): 706-710. 2016. 12

D. 学会発表

2. 全国学会

(1) 特別講演(教育講演)

- 1) 天野 修: 解剖学者メッケル一族とメッケル軟骨. 第44回日本歯科医史学会学術大会, 文京区. 2016. 10
- 2) 天野 修: 第三の手・舌. 第63回日本小児保健協会学術集会, さいたま市. 2016. 6

(2) シンポジウム

- 1) 坂東康彦, 天野 修: 軟骨吸収細胞セプトクラスト. 第40回峠の会 形態学セミナー, 仙北市. 2016. 7

(3) 一般演題

- 1) 崎山浩司, 坂東康彦, 川邊好弘, 坂下 英, 平良芙蓉子, 三宅言輝, 天野 修: 下顎舌側部に分布する血管および顎舌骨筋の形態. 第122回日本解剖学会総会・全国学術集会, 長崎市. 2017. 3
- 2) 坂東康彦, 坂下 英, 崎山浩司, 大和田祐二, 天野 修: マウス骨端板における septoclast の発生と由来. 第122回日本解剖学会総会・全国学術集会, 長崎市. 2017. 3

- 3) 井上勝元, 崎山浩司, 坂下 英, 瀧澤将太, 坂東康彦, 坂下英明, 天野 修: マウス甲状腺管の消失機構と舌骨の関係. 第 122 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 長崎市. 2017. 3
- 4) 坂下 英, 坂東康彦, 崎山浩司, 坂下英明, 天野 修: マウスメッセル軟骨における低酸素誘導因子 HIF-1 α の発現と低酸素器官培養の影響. 第 122 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 長崎市. 2017. 3
- 5) 平良芙蓉子, 川邊好弘, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: 亜鉛欠乏ラットにおけるエブネル腺の変化. 第 122 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 長崎市. 2017. 3
- 6) 三宅言輝, 平良芙蓉子, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: ラット舌下腺におけるアディポネクチンの局在と糖尿病の影響. 第 122 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 長崎市. 2017. 3
- 7) 坂下 英, 坂東康彦, 崎山浩司, 坂下英明, 天野 修: マウス胎仔 Meckel 軟骨における低酸素誘導因子(HIF-1 α)の局在と低酸素器官培養の影響. 第 53 回日本口腔組織培養学会学術大会・総会, 金沢市. 2016. 11
- 8) 崎山浩司, 坂東康彦, 小峰雄介, 三宅言輝, 平良芙蓉子, 坂下 英, 天野 修: 下顎舌側領域における顎舌骨筋および静脈分布の関係. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌市. 2016. 8
- 9) 坂東康彦, 坂下 英, 崎山浩司, 天野 修: レチノイン酸過剰・欠乏における septoclast の形態変化と増殖抑制のメカニズム. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌市. 2016. 8
- 10) 坂上 宏, 奥平准之, 天野 修, 横瀬敏志: ドキソルビシンのヒト口腔ケラチノサイトに対する傷害性を緩和する物質の探索. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌市. 2016. 8
- 11) 坂下 英, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: マウスメッセル軟骨におけるセプトクラストの局在. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌市. 2016. 8
- 12) 平良芙蓉子, 川邊好弘, 坂東 康彦, 崎山浩司, 天野 修: ラットエブネル腺の筋上皮細胞の分布と形態. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌市. 2016. 8
- 13) 三宅言輝, 平良芙蓉子, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: ラット舌下腺におけるアディポネクチンの局在. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌市. 2016. 8
- 14) 小峰 雄介, 崎山浩司, 瀧澤将太, 坂東 康彦, 天野 修: 癌周囲組織における筋の修復と High mobility group box 1 (HMGB1) の分布. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌市. 2016. 8
- 15) 坂下 英, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: マウスメッセル軟骨における E-FABP 陽性セプトクラストの局在. 第 40 回峠の会形態学セミナー, 仙北市. 2016. 7
- 16) 平良芙蓉子, 川邊好弘, 坂東 康彦, 崎山浩司, 天野 修: ラット Ebner 腺の

筋上皮細胞の局在と三次元的形態. 第 40 回峠の会形態学セミナー, 仙北市.
2016. 7

17) 三宅言輝, 平良芙蓉子, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: ラット舌下腺における
アディポネクチンの局在. 第 40 回峠の会形態学セミナー, 仙北市. 2016. 7

E. その他の研究会、講演など

- 1) 崎山浩司: 加齢による頭頸部の解剖学的変化. 川越市歯科医師会定例会学術講演会,
川越市. 2017. 2
- 2) 崎山浩司: インプラント治療に必要な解剖学. 歯科医師生涯研修(インプラント
ベーシックプログラム 10 日間コース, 浦安市. 2016. 10
- 3) 崎山浩司: 頭頸部の解剖学的な基本構造を理解する. 平成 28 年度東京歯科大学同窓
会埼玉県支部学術講演会, さいたま市. 2016. 7

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)

- 1) 天野 修: 軟骨吸収における脂肪酸と脂肪酸結合タンパク質の役割.
- 2) 坂東康彦: 単核軟骨吸収細胞 septoclast における脂肪酸・レチノイン酸代謝の意義

3. 宮田研究奨励金(A)

- 1) 坂東康彦: 骨端板軟骨吸収細胞 septoclast における表皮型脂肪酸結合タンパク
(E-FABP)の機能的役割の解析

口腔解剖学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) "Kobayashi H, Chang SH, Mori D, Itoh S, Hirata M, Hosaka Y, Taniguchi Y, Okada K, Mori Y, Yano F, Chung UI, Akiyama H, Kawaguchi H, Tanaka S, Saito T", Biphasic regulation of chondrocytes by Rel α through induction of anti-apoptotic and catabolic target genes., Nat Commun. 2016. 7:13336. , 2016, 11

2. 総説

- 1) Hayashida-Abe Chiyomi, Interferon- β produced by osteocytes may negatively regulate osteoclastogenesis, "ELSEVIER, Journal of Oral Biosciences (vol. 58, issue 3)", 2016, 6

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 伊東順太, 大山洋子, Jose Kitano Flores Victor, 林田千代美, 佐藤卓也, 羽毛田慈之, スダチ果皮特有ポリメトキシフラボノイド sudachitin は破骨細胞形成および LPS 誘導炎症性骨破壊を抑制する, 第 34 回日本骨代謝学会学術集会, 大阪, 2016, 7

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 林田千代美, 骨細胞由来の未知の破骨細胞形成抑制因子の同定とその作用機構の解明, 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)成果報告書提出, 若手研究(B), 2016, 4

生理学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Oikawa S, Kai Y, Tsuda M, Ohata H, Mano A, Mizoguchi N, Sugama S, Nemoto T, Suzuki K, Kurabayashi A, Muramoto K, Kaneda M, Kakinuma Y, Non-neuronal cardiac cholinergic system influences CNS via the vagus nerve to acquire a stress-refractory propensity, *Clin Sci (Lond)*. 130 (21): 1913-1928, 2016.11
- 2) Fujita S, Mizoguchi N, Aoki R, Cui Y, Koshikawa N and Kobayashi M, Cytoarchitecture-Dependent Decrease in Propagation Velocity of Cortical Spreading Depression in the Rat Insular Cortex Revealed by Optical Imaging., *Cereb Cortex*. 26 (4): 1580-1589, 2016.4

2. 総説

- 1) Mizoguchi N, Kobayashi M, Muramoto K, Integration of olfactory and gustatory chemosignals in the insular cortex, *J Oral Biosci*. 58 (3): 81-84, 2016.8
- 2) 村本和世, 小児の摂食・嚥下とその発達・病態, *小児保健研究* 75 (6), 701-705, 2016.11
- 3) 村本和世, 摂食・嚥下機能の発達と病態, *小児歯科臨床*, 21 (12), 11-17, 2016.12
- 4) 村本和世, 味とにおいの奏でる食のハーモニー(味わいの脳科学), *日本顎口腔機能学会雑誌* 23 (1), 1-9, 2017.3

C. その他の刊行物など

- 1) 村本和世, 書評: お酒の香りー生物(学)からみたお酒の世界とその歴史ー, *日本味と匂学会誌*, 23 (1), 27-29, 2016.4

D. 学会発表

1. 国際学会

(3)一般演題

- 1) Chizuru Utsugi, Makoto Kashiwayanagi, Tadashi Katayama, Mamoru Machino, Kazuyo Muramoto, Does the number of residual teeth affect to the olfactory functions in human, XVII. International Symposium on Olfaction and Taste (ISOT), Yokohama, Japan, 2016.6
- 2) Mizoguchi N, Kobayashi M, Muramoto K, The gustatory response is accelerated by the olfactory information in rat insular cortex, XVII. International Symposium on Olfaction and Taste (ISOT), Yokohama, Japan, 2016.6

- 3) Naoko Mizoguchi, Masayuki Kobayashi, Kazuyo Muramoto, Modification of the gustatory responses in rat insular cortex by the olfactory stimulation, 46th Annual Meeting of Society for Neuroscience, San Diego (CA), USA, 2016.11

2. 全国学会

(1) 特別講演(教育講演)

- 1) 村本和世, 小児の摂食・嚥下とその発達・病態, 第 63 回日本小児保健協会学術集会(教育講演), さいたま市大宮区(埼玉県), 2016.6
- 2) 村本和世, 味とにおいの奏でる食のハーモニー: 味わいの脳科学, 第 56 回日本顎口腔機能学会学術大会(特別講演), 川越市(埼玉県), 2016.4

(2) シンポジウム

- 1) 柿沼由彦, 及川詩乃, 甲斐裕子, 大畠久幸, 眞野あすか, 溝口尚子, 洲鎌秀永, 根本崇宏, 鈴木健治, 村本和世, 金田誠, 非神経性心臓コリン作動系は迷走神経を介してストレス抵抗性を亢進させる (Non-neuronal cardiac cholinergic system induces central anti-stress responses), 第 95 回日本生理学会大会(シンポジウム), 浜松市(静岡県), 2017.3
- 2) 溝口尚子, 小林真之, 村本和世, 味覚と嗅覚の皮質内情報統合機構(The integration mechanism for information of odor and taste), 第 58 回歯科基礎医学会学術大会・総会(サテライトシンポジウム), 札幌市(北海道), 2016.8

(3) 一般演題

- 1) 溝口尚子, 箕田碧, 須田直人, 村本和世, ラット歯根膜領域電気刺激に対する体性感覚野および島皮質口腔領域の応答特性(Characteristics of the elicited responses of rat somatosensory and insular cortices by electrical stimulation to periodontal ligament), 第 94 回日本生理学会大会, 浜松市(静岡県), 2017.3
- 2) Kakinuma Y, Oikawa S, Kai Y, Tsuda M, Ohata H, Mano A, Mizoguchi N, Sugama S, Nemoto T, Suzuki K, Kurabayashi A, Muramoto K, Kaneda M, A stress-refractory propensity in the CNS is provided by augmented non-neuronal cardiac cholinergic system via the vagus nerve to acquire, 第 81 回日本循環器学会学術集会, 金沢市(石川県), 2017.3
- 3) 箕田碧, 溝口尚子, 村本和世, 須田直人, 歯根膜領域刺激の情報処理における体性感覚野および島皮質の役割(Roles of the somatosensory and insular cortices on the signal processing of the periodontal ligament area stimulation), 第 75 回日本矯正歯科学会大会, 徳島市(徳島県), 2016.11
- 4) 栗原琴二, 村本和世, 唾液腺マイクロ RNA の発現調節: 更年期後のストレスの

バイオマーカーとしての可能性 (Regulation of microRNAs in mouse salivary glands: a putative Bio-Marker of stress-dependent disease under partial androgen deficiency in aging males (PADAM)), 第 59 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 札幌市(北海道), 2016.8

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 挑戦的萌芽研究: 村本和世(代表), 脂味の受容と脂質摂取調節における唾液リパーゼの役割(平成 27 年度~平成 29 年度)
- 2) 若手研究(B): 溝口尚子(代表), 超高齢社会に貢献する風味形成機構解明への基礎的アプローチ(Basic approach to elucidation of flavor formation mechanism which contribute to super aged society)(平成 26 年度~平成 28 年度)

3. 宮田研究奨励金(A)および(E)

- 1) 宮田研究奨励金(A): 溝口尚子(代表), 摂食時のニオイ情報処理機構について~食の豊かさに関わる脳処理機構~, (2016 年度)

口腔小児科学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Koji Watanabe, Takashi Sasabe, Shigeru Watanabe, Evaluating Acid Resistance Effect of Fluoride-releasing Dental Materials using Quantitative Light-induced Fluorescence-Digital In Vitro, Open Journal of Stomatology, 2016, 6: 127-134, 2016, 4
- 2) Ochiai Y, Ogihara T, Nakamura A, Odai-Ide R, Sasabe T, Watanabe K and Watanabe S: Evaluation of the Enamel Density of Demineralized Lesions by μ CT, J Meikai Dent Med, 46, 71-78, 2017, 2
- 3) 沖殿ちひろ, 大場英和, 三木崇裕, 池田英史, 江田康輔, 吉原幸司郎, 棚瀬康介, 川上詠理, 小口寛子, 中村昭博, 井出令奈, 荻原 孝, 渡辺幸嗣, 渡部 茂: 本学付属病院小児歯科外来における初診患者の実態調査-2007年から2011年の5年間について-, 小児歯誌, 54, 476-481, 2016, 11

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Ogihara T, Okidono C, Kuroshita R, Oba H, Miki T, Eda K, Oguchi H, Odai R, Watanabe K and Watanabe S: Investigation of First-visit Patients at the Pediatric Dental Clinic of the University Hospital: A 5-year Survey from 2007 to 2011, 10th Biennial Conference of the Pediatric Dentistry Association of Asia, Tokyo, Japan, 2016, 5

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 吉田美香子, 大畑直子, 渡部 茂, 看護師による障害(児)者への口腔ケアの取り組みの現状-セミナー後のアンケートより-, 第 63 回日本小児保健協会学術集会, 埼玉, 2016, 6
- 2) 駒澤大悟, 梅崎栄作, 渡部 茂, 急速拡大装置を用いた上顎前方牽引時の骨切り術の違いによる応力分布の差異, 日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 75 回 Page. 181, 徳島, 2016, 11
- 3) 佐野哲文, 荻原 孝, 小林真彦, 嶋田 淳, 渡部 茂: 近接する中切歯の成長により上顎前歯部埋伏過剰歯に歯根吸収が生じたと推察される 1 例, 第 28 回日本小児口腔外科学会学術大会, 広島, 2016, 10

- 4) 河村良彦, 沖殿ちひろ, 小口寛子, 佐野哲文, 荻原 孝, 佐野正之, 渡部 茂 :
口腔外傷児童の性格行動パターンとの関連性について疫学的研究, 第 63 回日本
小児保健協会学術集会, 埼玉, 2016, 6
- 5) 渡辺幸嗣, 中村昭博, 巢瀬賢一, 中村徳三, 雀部貴志, 渡部茂, 歯科検診時の
指導における齲蝕罹患に影響を与える小児の養育環境, 第 54 回日本小児歯科
学会, 2016, 5
- 6) 村本知歌子, 大場英和, 三木崇裕, 佐野哲文, 荻原 孝, 佐野正之, 渡部 茂 :
社会的認知理論に基づく低年齢児対象の齲蝕予防教育への取り組みー保護者の
アンケートからみた新たな齲蝕予防プログラムの評価ー, 第 63 回日本小児保健
協会学術集会, 埼玉, 2016, 6
- 7) 佐野哲文, 荻原 孝, 佐野裕子, 佐野正之, 渡部 茂, 嶋田 淳 : 上顎前歯部
埋伏過剰歯の顎骨内における経時的变化に対する臨床的研究, 第 54 回日本小児
歯科学会大会, 東京, 2016, 5
- 8) 鈴木 亮, 横塚裕二, 駒澤大悟, 小口寛子, 渡部 茂, 舌小帯短縮症の機能障害に
ついて, 第 63 回日本小児保健協会学術集会, 埼玉, 2016, 6
- 9) 小野義晃, 中村昭博, 雀部 貴, 荻原 孝, 渡辺幸嗣, 渡部 茂 : 唾液による口腔
内 pH の調整, 第 9 回日本健康医療学会学術大会, 東京, 2016, 10
- 10) 吉田美香子, 福島理恵, 春藤真知子, 江田康介, 中村昭博, 大畑直子, 鈴木 昭,
渡部 茂, 知的障害児(者)入所施設職員における口腔ケアの意識調査, 第 31 回
関東地方会大会・総会, 2016, 10
- 11) 立花太陽, 江田康輔, 池田英史, 佐野哲文, 荻原 孝, 佐野正之, 渡部 茂 : 中・
高校生の性格と歯肉炎との関連性について, 第 63 回日本小児保健協会学術集会,
埼玉, 2016, 6
- 12) 浅香有希子, 大畑直子, 棚瀬康介, 佐野哲文, 荻原 孝, 佐野正之, 渡部 茂 :
中学・高校生の歯肉炎に関する疫学的研究～第一報 歯肉炎と口腔衛生習慣との
関連～, 第 63 回日本小児保健協会学術集会, 埼玉, 2016, 6
- 13) 小野義晃, 小野洋子, 荻原 孝, 渡部 茂 : 当院で行っているゼロ歳児からの
口腔ケアについて, 日本小児歯科学会関東地方会第 31 回大会, 山梨, 2016, 10
- 14) 吉田美香子, 本学附属病院小児歯科外来における定期検診の効果の検討, 第 34 回
日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2016, 6

F. 研究助成金等の受入れ

2. その他の公的機関からの助成金

- 1) 駒澤大悟, ハイブリッドタイプ急速拡大装置を用いた上顎前方牽引時の骨切り術の
違いによる応力分布の差異ー三次元有限要素法ー, 富徳会研究助成金, 2016, 8

3. 宮田研究奨励金(A)および(E)

- 1) 駒澤大悟, 異なる固定法および骨切り術の有無における急速拡大時の変位解析-デジタル画像相関法を用いて-, 宮田研究奨励金(A), 2016, 6

歯科矯正学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 須田直人, マルファン症候群ガイドブック (第3版), 9. 歯科医の立場から, 150-161頁, 監修 沼部博直, マルファンネットワークジャパン, 2017年2月14日.

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 峯岸 至保, 日比野 靖, 中嶋 裕, 須田 直人. 矯正歯科用レジン添加型ガラスアイオノマーセメントを用いたメタルブラケットとエナメル質の接着強さサーマルサイクルと粉液比が接着強さに及ぼす影響. 接着歯学 (0913-1655)34 巻 2号 Page68-81(2016.08)
- 2) Shinagawa-Ohama R, Mochizuki M, Tamaki Y, Suda N, Nakahara T. Heterogeneous Human Periodontal Ligament-Committed Progenitor and Stem Cell Populations Exhibit a Unique Cementogenic Property under In Vitro and In Vivo Conditions. Stem Cells Dev. 2017 Jan 31. doi: 10.1089/scd.2016.0330.
- 3) 森脇 由華, 大塚 雄一郎, 金子 優, 加藤 悠歩, 大貫 那未, 長谷川 尚哉, 町谷 亜位子, 土屋 隆子, Otgontuya Dashdondog, 土肥 洋介, 豊田 亜希子, 須田 直人. 舌小帯切除術を施行した舌小帯強直症 3例における舌運動と舌圧の評価. 明海歯科医学 (1881-4298)46 巻 1号 Page22-33(2017.02)

2. 総説

- 1) 須田直人. 遺伝性疾患における歯の異常とその多様性. 腎と骨代謝. Page75-80(2016.04)
- 2) Fujimoto M, Suda N, Katagiri T. Molecular mechanisms for activation of mutant activin receptor-like kinase 2 in fibrodysplasia ossificans progressiva. Journal of Oral Biosciences. doi:10.1016/j.job.2017.03.004

3. 症例報告

- 1) 権田秋華, 真野樹子, 長谷川紘也, 須田直人. ニッケルアレルギーに配慮し上顎歯列の狭窄と骨格性開咬に対し SARPE と上下顎同時移動術を施行した 1例. Orthodontic Waves-Japanese Edition, 76(1), 39-45(2017.3)
- 2) 金子浩巳, 大塚雄一郎, 長谷川直哉, 須田直人. 片側性咬筋肥大を伴う成長期顔面非対称の一例 -非観血的治療とその経過-. 明海歯科医学 (1881-4298)45 巻 1号 Page92-101(2016)

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Hasegawa N, Sasaki A, Tsuchiya T, Suda N, Sakagami H, Adachi K. Effects of TRPV1 receptor antagonism on orthodontic force induced pain. Society for Neuroscience Annual meeting 2016. 12-16 November, 2016, San Diego, USA.
- 2) Machiya A, Ohte S, Tsukamoto S, Sekine N, Jimi E, Suda N, Katagiri T. The TGF- β family signaling is involved in regulation of incisor formation of adult mice. The 14th RCGM International Symposium of Academic Frontier, 11-12 November, 2016, Saitama, Japan
- 3) Machiya A, Ohte S, Tsukamoto S, Sekine N, Jimi E, Suda N, Katagiri T. Role of TGF- β super family signaling in the mechanism of tooth formation in adult mice. International Symposium 2016 Oral and Craniofacial Development and Diseases, 12 December, 2016, Osaka, Japan
- 4) Mano M. A Japanese Nationwide Survey on Occlusal Outcome after Orthodontic Treatment for Patients with UCLP, 13th International Cleft Congress, 8-12 February, 2017, Chennai, India.
- 5) Suda N. Maxillary canine inclination after gingivoperiosteoplasty in patients with unilateral cleft lip and palate (UCLP), 13th International Cleft Congress, 8-12 February, 2017, Chennai, India.
- 6) Suda N. Occlusal management of CLP children in non-metropolitan Japanese area, 13th International Cleft Congress, 8-12 February, 2017, Chennai, India.

2. 全国学会

(1) 特別講演(教育講演)

- 1) 三條恵介, 大塚雄一郎, 品川 令, 富田至保, 箕田碧, 長谷川尚哉, 須田直人. 精度の高い歯列画像を有する三次元顎顔面頭蓋画像の再構成. 第26回日本顎変形症学会. 2016年6月24-25日. 東京. 学会賞受賞講演
- 2) 藤本 舞, 大手 聡, 大澤 賢次, 宮本 阿礼, 塚本 翔, 水田誉人, 古株彰一郎, 須田 直人, 片桐 岳信. 進行性骨化性線維異形成症から同定された ALK2 変異体は II 型受容体に対する感受性が異なる. 第58回歯科基礎医学会学術大会. 2016年8月24-26日, 北海道. 学会奨励賞受賞講演

(2) シンポジウム

- 1) 真野 樹子. 多施設共同研究による片側性唇顎口蓋裂の矯正歯科治療後の咬合評価. 第 40 回日本口蓋裂学会. 2016 年 5 月 26-27 日, 大阪市, 大阪.
- 2) 須田 直人. 先天性多数歯欠如症例への集学的アプローチ. 第 75 回日本矯正歯科学会大会. サテライトセミナー. 2016 年 11 月 7-9 日, 徳島市, 徳島.
- 3) 真野 樹子. シンポジウム II 「頭蓋外顔面外科領域での外科医と矯正歯科医のコラボレーション」咬合と呼吸機能の改善から考える頭蓋骨縫合早期癒合症の治療計画. 第 34 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会. 2016 年 11 月 10-11 日, 東京.

(3) 一般演題

- 1) 藤本 舞, 真野 樹子, 時岡 一幸, 長谷川 紘也, 重松 久夫, 奥 結香, 中塚 貴志, 坂下 英明, 須田 直人. 歯肉骨膜形成術を施行した片側性唇顎口蓋裂児における上顎永久犬歯の歯軸傾斜. 第 40 回日本口蓋裂学会. 2016 年 5 月 26-27 日, 大阪市, 大阪.
- 2) 長谷川紘也. メカニカルストレスによる破骨細胞の分化促進機構について. 明海歯科医学会第 29 回学術大会, 2016 年 6 月 2 日, 坂戸
- 3) 川尻朱美, 松井成幸, 佐々木会, 遠藤則和, 上里忠成, 東金由莉, 須田直人. 骨格性反対咬合症例における下顎窩の位置と頭蓋骨形態との関連性. 第 26 回日本顎変形症学会. 2016 年 6 月 24-25 日. 東京
- 4) 三條恵介, 大塚雄一郎, 須田直人. 口腔内スキャナにより採得した歯列 STL データと顎顔面頭蓋 DICOM データの画像統合の試み. 第 26 回日本顎変形症学会. 2016 年 6 月 24-25 日. 東京
- 5) 佐々木 会, 大塚雄一郎, 藤本 舞, 須田直人, “歯科矯正用アンカースクリューを利用して上顎左側臼歯の近心移動を図った上顎両側犬歯の先天性欠如を伴う Angle Class II subdivision 症例”, 第 1 回歯科矯正用アンカースクリュー研究会学術大会、東京, 2016, 9
- 6) 長谷川尚哉, 佐々木会, 土屋隆子, 坂上宏, 安達一典, 須田直人. 矯正歯科治療に伴う疼痛に対する新規疼痛制御物質の探索. 第 134 回日本薬理学会関東部会. 2016 年 7 月 9 日, 栃木.
- 7) 品川 令, 佐々木 会, 藤本 舞, 加藤 悠歩, 大貫 那未, 小貫 裕之, 嶋田 淳, 須田直人. インプラント補綴と矯正治療により咬合改善を図った 2 例. 第 75 回東京矯正歯科学術大会. 2016 年 7 月 14 日, 東京.
- 8) 長谷川尚哉, 佐々木会, 土屋隆子, 坂上宏, 安達一典, 須田直人. 矯正治療に伴う疼痛に対する新規疼痛制御物質の探索. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会. 2016 年 8 月 24-26 日, 北海道.
- 9) 町谷亜位子, 自見英治郎, 須田直人, 片桐岳信. 成体マウスの切歯形成における

- TGF- β ファミリーの関与. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会. 2016 年 8 月 24-26 日, 北海道.
- 10) 安達一典, 須田直人, 坂上宏. 口腔の痛覚受容解明への新たなアプローチ 歯の移動に伴う疼痛の経時的評価. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会. 2016 年 8 月 24-26 日, 北海道.
 - 11) 大塚雄一郎, 森脇由華, 大貫那未, 須田直人. 舌小帯強直症患者の舌機能の変化. 第 4 回日本口腔筋機能療法学会学術大会. 2016 年 10 月 20 日, 東京.
 - 12) 町谷亜位子, 藤本舞, 大手聡, 塚本翔, 倉谷麻衣, 須田直人, 片桐岳信. 進行性骨化性線維異形成症 (FOP) の異所性骨化における FKBP12 の役割. 一般財団法人岩垂育英会 平成 28 年度育英会賞受賞者講演・奨学生研究成果報告会, 2016 年 10 月 20 日, 大阪
 - 13) 箕田 碧, 溝口尚子, 村本和世, 須田直人. 歯根膜領域刺激の情報処理における体性感覚野および島皮質の役割, 第 75 回日本矯正歯科学会大会. 2016 年 11 月 7-9 日, 徳島.
 - 14) 長谷川尚哉, 佐々木会, 土屋隆子, 坂上宏, 安達一典, 須田直人. 矯正治療に伴う疼痛に対する動物モデルを用いた評価系の開発 -第 3 報- : 種々の疼痛制御物質の評価, 第 75 回日本矯正歯科学会大会. 2016 年 11 月 7-9 日, 徳島.
 - 15) 大貫那未, 森脇由華, 金子優, 加藤悠歩, 大塚雄一郎, 須田直人. 舌小帯切除を施行した舌強直症 4 例における舌機能の定量的評価. 第 75 回日本矯正歯科学会大会. 2016 年 11 月 7-9 日, 徳島.
 - 16) 上里忠成, 松井成幸, 梅崎栄作, 須田直人. 下顎骨変形に起因した水平的偏位を伴う骨格性下顎前突症における SSR0 前後の下顎骨応力解析. 第 75 回日本矯正歯科学会大会. 2016 年 11 月 7-9 日, 徳島.
 - 17) 加藤 悠歩, 大塚雄一郎, 三條 恵介, 金子 優, 土肥洋介, 浦 啓修, 嶋田 淳, 須田直人. 上下顎移動術の術後変化に対する三次元評価. 第 75 回日本矯正歯科学会大会. 2016 年 11 月 7-9 日, 徳島.
 - 18) 真野樹子, 藤本舞, 品川令, 土屋隆子, 土肥洋介, 長谷川紘也, 須田直人. 唇顎口蓋裂児の術前顎矯正における口腔内スキャナ使用の試み. 第 75 回日本矯正歯科学会大会. 2016 年 11 月 7-9 日, 徳島.
 - 19) 町谷亜位子, 自見英治郎, 片桐岳信, 須田直人. 生後のマウス切歯形成における Smad4 の関与, 第 75 回日本矯正歯科学会大会. 2016 年 11 月 7-9 日, 徳島.
 - 20) 三條恵介, 大塚雄一郎, 鈴木瑛郷, 須田直人. 口腔内の光学印象より再構成した咬合時の三次元画像と CT データの統合正確度, 第 75 回日本矯正歯科学会大会. 2016 年 11 月 7-9 日, 徳島.
 - 21) 長谷川尚哉, 佐々木会, 土屋隆子, 坂上宏, 安達一典, 須田直人. 矯正治療に伴う疼痛に対する作用機序の異なる疼痛制御物質の評価. 第 10 回 三叉神経領域の感覚一

運動統合機能研究会. 2016年11月26-27日, 長野.

- 22) 土屋隆子, 長谷川尚哉, 坂上宏, 安達一典, 須田直人. 矯正治療に伴う疼痛に対する炭酸ガスレーザーの効果. 第10回 三叉神経領域の感覚-運動統合機能研究会. 2016年11月26-27日, 長野.

E. その他の研究会, 講演など

- 1) 須田直人. 一期治療の治療目標. 東京医科歯科大学 大学院講義, 2017年3月27日, 東京.
- 2) 須田直人. 口腔の機能と矯正歯科治療, 城西大学 フレッシュマンセミナー演習, 2016年6月20日, 埼玉.
- 3) 真野樹子. 笑顔とコミュニケーション・フレッシュマンセミナー. 城西大学薬学部 医療栄養科, 2016年6月27日, 埼玉.
- 4) 須田直人. Marfan 症候群患者の QOL と歯科矯正学, 大阪大学「口の難病」セミナー, 2016年9月2日, 大阪.
- 5) 須田直人. 矯正治療に伴う歯の痛み, 東京医科歯科大学 顎顔面矯正学分野同門会講演会, 2017年1月26日, 東京.

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 須田直人: 科学研究費 挑戦的萌芽研究(15K15759) 臍帯血幹細胞を用いた再生医学的アプローチによる早期顎裂閉鎖に向けて, 2015年4月~2017年3月, 総額 3,640 千円
- 2) 佐々木会: 科学研究費 若手研究(B)(16K20653) 歯の移動に伴う疼痛: 新規治療薬の探索と発現機構の解明, 2016年4月~2019年3月, 総額 2,990 千円
- 3) 長谷川紘也: 科学研究費 若手研究(B)(16K21326) 破骨細胞の分化と成熟化シグナルのクロストークを探る, 2016年4月~2019年3月, 総額 4,160 千円
- 4) 長谷川紘也: 2016年度宮田奨励金A, NF- κ B デコイオリゴ核酸による破骨細胞分化への影響について, 総額 750 千円

受賞

- 1) 三條恵介, 大塚雄一郎, 品川令, 富田至保, 箕田碧, 長谷川尚哉, 須田直人. 精度の高い歯列画像を有する三次元顎顔面頭蓋画像の再構成. 第26回日本顎変形症学会. 2016年6月24-25日. 東京. 最優秀論文賞
- 2) 長谷川尚哉, 佐々木会, 土屋隆子, 坂上宏, 安達一典, 須田直人. 矯正歯科治療に伴う疼痛に対する新規疼痛制御物質の探索. 第134回日本薬理学会関東部会. 2016年7月9日, 栃木. Young Investigator Award 受賞
- 3) 藤本 舞, 大手 聡, 大澤 賢次, 宮本 阿礼, 塚本 翔, 水田 誉人, 古株彰一郎,

須田 直人，片桐岳信．進行性骨化性線維異形成症から同定された ALK2 変異体は II 型受容体に対する感受性が異なる．第 58 回歯科基礎医学会学術大会．2016 年 8 月 24-26 日，北海道．学会奨励賞受賞

- 4) 町谷亜位子，自見英治郎，片桐岳信，須田直人．生後のマウス切歯形成における Smad4 の関与．第 75 回日本矯正歯科学会大会，2016 年 11 月 7 日-9 日，徳島．第 75 回日本矯正歯科学会大会優秀発表賞受賞

口腔生物再生医工学講座

生 化 学 分 野

微 生 物 学 分 野

歯 周 病 学 分 野

基 礎 化 学 分 野

生化学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 坂東健二郎, 第2章生体分子の構造と機能, "スタンダード生化学・口腔生化学 第3版 (編集:池尾隆、加藤靖正、近藤信夫、自見英治郎、鈴木直人、平塚浩一、友村明人)、学建書院, 東京, pp10-35", 2016, 4
- 2) 友村明人, 第10章唾液腺と唾液, "スタンダード生化学・口腔生化学 第3版 (編集:池尾隆、加藤靖正、近藤信夫、自見英治郎、鈴木直人、平塚浩一、友村明人)、学建書院, 東京, pp244-253", 2016, 4
- 3) 友村美根子, 第17章生化学実験, "スタンダード生化学・口腔生化学 第3版 (編集:池尾隆、加藤靖正、近藤信夫、自見英治郎、鈴木直人、平塚浩一、友村明人)、学建書院, 東京, pp360-363", 2016, 4

B. 学術論文

1. 原著

- 1) "Sharma G, Saito T, Asada A, Ando K, Tomomura M, Hisanaga SI", The kinase activity of endosomal kinase LMTK1A regulates its cellular localization and interactions with cytoskeletons., "Genes to Cells.21. pp1080-1094", 2016, 10
- 2) "Kusuyama J, Komorizono A, Bandow K, Ohnishi T, Matsuguchi T", CXCL3 positively regulates adipogenic differentiation., "Journal of Lipid Research. 57. pp1806-1820", 2016, 10
- 3) "Hisadome M, Ohnishi T, Kakimoto K, Kusuyama J, Bandow K, Kanekura T, Matsuguchi T", Hepatocyte growth factor reduces CXCL10 expression in keratinocytes., "FEBS Letter. 590. pp3595-3605", 2016, 10
- 4) "Sakagami H, Masuda Y, Tomomura M, Yokose S, Uesawa Y, Ikezoe N, Asahara D, Takao K, Kanamoto T, Terakubo S, Kagaya H, Nakashima H and Sugita Y", Quantitative structure-cytotoxicity relationship of chalcones., "Anticancer Research. 37. pp1091-1098", 2017, 3

C. その他の刊行物など

- 1) 友村美根子, 破骨細胞形成におけるリナカンチンCの抑制作用の分子メカニズム, "基盤研究(C)25462898 最終報告書", 2016, 6

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 深見 聡、鈴木 龍一郎、友村美根子、友村 明人、坂上宏、白瀧 義明, 骨芽細胞を分化促進させる生薬の探索, “第 63 回 日本生薬学会, 富山”, 2016, 9
- 2) 友村美根子、坂東健二郎、鈴木龍一郎、白瀧義明、坂上宏、友村明人, 骨芽細胞と破骨細胞の分化におけるセラニルセラニオールの効果, “第 89 回日本生化学会大会, 仙台”, 2016, 9
- 3) 川口祥子、坂東健二郎、田村暢章、友村美根子、嶋田淳、友村明人, LPS 誘導性破骨細胞分化に対するカルデクリンの効果, “第 39 回日本分子生物学会年会, 横浜”, 2016, 12
- 4) 駒木圭介、池田識人、高野哲也、友村美根子、浅田朋子、斉藤太郎、安藤香奈絵、久永眞市, β セクレターゼ (BACE1) の細胞内輸送における Lemur kinase1A (LMTK) の役割, “第 39 回日本分子生物学会年会, 横浜”, 2016, 12
- 5) 杉山亜梨華、高橋路佳、魏 冉、福田公子、友村美根子、安藤香奈絵、久永眞市, 小胞体輸送を制御する脳キナーゼ LMTK 1 の膜貫通型と非膜貫通型アイソフォームの発現と機能解析, “第 39 回日本分子生物学会年会, 横浜”, 2016, 12

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 友村美根子(代表), 骨吸収と骨形成を相反的に制御するセラニルセラニオールの作用解明と骨粗鬆症への応用. “16K11487”, 2016. 4

微生物学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) “大森喜弘、天野 滋、廣井美紀、山口花”, 2016 年度 感染免疫制御学 実習 (第 1 版), DTP 出版、東京, 2016, 6
- 2) 大森喜弘, 第 1 章 微生物学総論 III 微生物の分類と性状、B ウイルス: 口腔微生物学・免疫学 第 4 版, 医歯薬出版 18-24, 2016, 1
- 3) 大森喜弘, 大森喜弘、第 1 章 微生物学総論 III 微生物の分類と性状、D 原虫: 口腔微生物学・免疫学 第 4 版, 医歯薬出版 29-31, 2016, 1
- 4) 大森喜弘, 大森喜弘、第 3 章 病原微生物各論 X 原虫感染症: 口腔微生物学・免疫学 第 4 版, 医歯薬出版 173-174, 2016, 1
- 5) 大森喜弘, 第 1 章 微生物学総論 III 微生物の分類と性状、A 細菌: 口腔微生物学・免疫学 第 4 版, 医歯薬出版 10-17, 2016, 1

B. 学術論文

3. 症例報告

- 1) 天野 滋、松本 勝, 薬用デントポリス EX 歯磨きジェルの臨床試験, 株式会社 大木, 2016, 3
- 2) 天野 滋、松本勝, 薬用デントポリス EX 歯磨きジェルの臨床試験, 株式会社 大木, 2017, 3

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) Shigeru Amano, Yoshihiro Ohmori, “The N-terminal fragment of Fibronectin binds to CD13 of osteoclast progenitor and enhances osteoclastogenesis”, “第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌”, 2016, 9
- 2) 天野 滋、大森喜弘, フィブロネクチン N 末端断片は破骨細胞前駆細胞の CD13 に結合して破骨細胞形成を促進させる, “第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌”, 2016, 8
- 3) 山口花、大森喜弘, マウス扁平上皮癌細胞のインターフェロン耐性は IFN 誘導性タンパク質 p204 (Ifi204) の非発現による, “第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌”, 2016, 8
- 4) 廣井 美紀、森 一将、嶋田 淳、大森 喜弘, 口腔癌細胞におけるアポトーシス制御因子 GRIM-19 の発現制御機構, “第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌”, 2016, 8

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 天野 滋、関根圭輔, フィブロネクチン N 末端断片が結合する CD13 の炎症性骨破壊における役割の解明, “文部省科学研究費補助金基盤研究(C) (代表)”, 2017, 3
- 2) 天野 滋, “間質細胞由来破骨細胞前駆細胞機能維持因子の同定と炎症性骨破壊における役割の解明”, “文部省科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究) (代表)”, 2016, 3

歯周病学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 辰巳順一, インプラント周囲炎への半導体レーザーの応用 大特集 インプラント治療におけるレーザーの活用・最前線, "クインテッセンス・デンタル・インプラントロジー", 23(3), 32-37", 2016, 5
- 2) 申 基喆/編, 辰巳 順一, 林 丈一朗, 谷田部 一大, 大塚 秀春, 大西 英知, 石井 麻紀子, 鈴木 允文/著, 歯周病診断と治療マニュアル 第2版, 美和野印刷, 東京, 2016, 6

B. 学術論文

1. 原著

- 1) "Hayashi J, Hasegawa A, Hayashi K, Suzuki T, Ishii M, Otsuka H, Yatabe K, Goto S, Tatsumi J, Shin K", Effects of periodontal treatment on the medical status of patients with type 2 diabetes mellitus: a pilot study, BMC Oral Health (2017) 17:77 DOI 10.1186/s12903-017-0369-2, 2017, 4
- 2) "Onishi H, Ro M, Suzuki T, Ishii M, Otsuka H, Yatabe K, Hayashi J, Tatsumi J, Shin K.", Lysine-specific proteolytic activity responsible for forsythia detaching factor modification., "Archives of Oral Biology 71, 24-30, 2016", 2016, 6
- 3) "Ogata Y, Nakayama Y, Tatsumi J, Kubota T, Sato S, Nishida T, Takeuchi Y, Onitsuka T, Sakagami R, Nozaki T, Murakami S, Matsubara N, Tanaka M, Yoshino T, Ota J, Nakagawa T, Ishihara Y, Ito T, Saito A, Yamaki K, Matsuzaki E, Hidaka T, Sasaki D, Yaegashi T, Yasuda T, Shibutani T, Noguchi K, Araki H, Ikumi N, Aoyama Y, Kogai H, Nemoto K, Deguchi S, Takiguchi T, Yamamoto M, Inokuchi K, Ito T, Kado T, Furuichi Y, Kanazashi M, Gomi K, Takagi Y, Kubokawa K, Yoshinari N, Hasegawa Y, Hirose T, Sase T, Arita H, Kodama T, Shin K, Izumi Y, Yoshie H.", Prevalence and risk factors for peri-implant diseases in Japanese adult dental patients, "J Oral Science 59(1), 1-11, 2017", 2016, 10
- 4) "Yorimasa Ogata, Junichi Tatsumi, Kitetsu Shin, et al", Prevalence and risk factors for peri-implant diseases in Japanese adult patients. A cross-sectional multi-center study by periodontal specialist, "Journal of oral science, JOS-16-0027. R2 0820", 2016, 1
- 5) 辰巳順一, 林 鋼兵, 小川洋一, 小玉治樹, 中島明敏, 鈴木允文, 谷田部一大, 申 基喆, 抗菌光線力学療法を用いたインプラント周囲炎の非外科的治療効果,

明海歯科医学 45(1), 81-91, 2016”, 2016, 3

- 6) 大塚 秀春、申 基喆, 明海大学病院歯周病科におけるインプラントの実態調査, 日本歯周病学会会誌, 59(1), 10-18, 2017, 4

3. 症例報告

- 1) “Joichiro Hayashi, Kitetsu Shin, Henry H. Takei”, Minimally Invasive Surgical Approaches for Esthetic Implant Dentistry: A Case Report, “Journal of Oral Implantology, 42 (1), 93-97.”, 2016, 2
- 2) 林 丈一朗, “歯周炎患者に対してインプラント外科手術時に隣在する天然歯のハード&ソフトティッシュマネジメントを行った一症例”, 日本歯周病学会会誌, 58(3), 117-124, 2016, 2016, 11

C. その他の刊行物など

- 1) 林 丈一朗, MY CHOICE パワーサージカルキュレット, 歯界展望, 128(1), 168, 2016, 7
- 2) 大塚秀春, 市村 光, 児島 暁, 安井絢子, 三宅 唯夫, 大西英知, 林 丈一朗, 申 基喆, 共振型音波歯ブラシの慢性歯周炎患者に対する臨床効果, 明海歯学, 45(1), 50-61, 2016, 2
- 3) 林 丈一朗, 今, ブラッシング指導に求められる意識改革とは, “Dental Products News, 216号, 株式会社ヨシダ”, 2016, 2
- 4) 石井 麻紀子, 林 丈一朗, 遠藤 学, 岩田 卓也, 新家 央康, 山村 加奈子, 辰巳 順一, 申 基喆, 歯周炎患者に対するコーヌステレスコープ義歯が支台歯の予後に及ぼす影響に関する後ろ向き研究, 明海歯学, 45(1), 39-49, 2016, 2
- 5) 辰巳 順一, 歯周外科の基本・応用、アシスタントの要点, 千葉県保険医新聞 10月25日号掲載記事、, 2016, 10
- 6) 辰巳 順一, 歯周治療ベーシックシリーズ オープンフラップキュレタージ (歯周治療 I V), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 新宿, 2016年7月2日 2016年7月3日
- 7) 林 丈一朗, “超高齢社会を見据えた歯周治療のベーシック&トレンド 電動歯ブラシを活用したプラークコントロール”, DENTAL DIAMOND, 41(2), 56-61, デンタルダイヤモンド社, 2016, 2

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) “Makiko ISHII, Ayako YASUI, Haruki KODAMA, Takuya IWATA, Hisayasu SHINYA,

- Takafumi SUZUKI, Hideharu OTSUKA, Joichiro HAYASHI, Kitetsu SHIN”, A retrospective study on the effects of Konus-telescope dentures for periodontal patients on the prognosis of abutment teeth, “American academy of periodontology 102th annual meeting, San Diego, USA”, 2016, 9
- 2) “Junichi Tatsumi, Ayako Yasui, Haruki Kodama, Kohei Hayashi, Joichiro Hayashi, and Kitetsu Shin”, The effect of horizontal loading on microgaps between dental implant fixture-abutment interfaces, “10th World Congress for Oral Implantology & AAID Global Conference 2016 (Co-organised with 5th ICOI South-east Asia Conference), 11-13, Nov, 2016, New Delhi, India”, 2016, 11

2. 全国学会

(1) 特別講演(教育講演)

- 1) 申 基喆(モデレーター)、秋本 健、小笠原 一行、鈴木 真名、中田 光太郎, Session 8 「エステティックエリアにおけるソフトティッシュマネージメント」, Straumann Forum 2016, 東京, 2016, 5
- 2) 申 基喆(座長)、渡邊文彦、林丈一朗、若林健史, “シンポジウムⅡ
- 3) 「日本におけるインプラントの課題と展望」”, 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016, 10
- 4) 申 基喆(座長)、小方 頼昌、田中 真喜、児玉 利朗, シンポジウムⅢ「インプラントの長期安定を求めて インプラントのマネージメントとサポータティブセラピーを考える」, 第 59 回 春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016, 5
- 5) 辰巳 順一, 抗菌光線力学療法(a-PDT)を用いた歯周病治療への臨床応用を探る, 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, シンポジウム I, 鹿児島, 2016 年 5 月 20 日, 2016, 5
- 6) 辰巳 順一, 根分岐部病変へのアプローチ, 第 33 回日本臨床歯周療法集談会学術大会、東京、2016 年 11 月 6 日, 2016, 11
- 7) 辰巳 順一, 歯周外科の基本, 応用, アシスタントの要点, 千葉県保険医協会学術講演, 千葉市, 2016 年 8 月 27 日, 2016, 8
- 8) 林 丈一朗, 歯周病患者に対するインプラント治療の問題点とその対応, 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016, 10
- 9) 申 基喆, 治療オプションとしての歯周外科 –その必要性和効果を考える–, 平成 27 年度埼玉県歯科医学大会, さいたま市, 2016, 2

(3) 一般演題

- 1) 菅原嵩大, 近藤貴之, 林 丈一朗, 申 基喆, Miller の分類クラス 3 の歯肉退縮に対してエナメルマトリックスタンパク質を併用した結合組織移植術により根面被覆を行なった一症例, 第 33 回日本臨床歯周療法集談会学術大会, 東京, 2016, 11

- 2) “安井 絢子, 辰巳 順一, 竹谷 佳将, 夏堀 壮一郎, 小玉 治樹, 林 鋼兵, 鈴木 允文, 石井 麻紀子, 大塚 秀春, 申 基喆”, “インプラント-アバットメント接合部封鎖性に及ぼす水平荷重負荷の影響 第 3 報: 水平荷重解除後の FAI 細菌漏洩程度の比較研究”, 第 60 回春季日本歯周病学学会学術大会, 福岡, 2017, 5
- 3) “安井 絢子, 辰巳 順一, 小玉 治樹, 林 鋼兵, 大西 英知, 谷田部 一大, 申 基喆”, “インプラント-アバットメント接合部封鎖性に及ぼす水平荷重負荷の影響 第 2 報: 純チタンとチタン合金の材質の違いによる比較研究”, 第 59 回春季日本歯周病学学会学術大会, 鹿児島, 2016, 5
- 4) 石井 麻紀子, 林 鋼兵, 鈴木 允文, 大塚 秀春, 辰巳 順一, 申 基喆, コーヌステレスコープ義歯を用いた歯周治療とその長期経過症例からみた支台歯の予後, 第 23 回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016, 10
- 5) “林 鋼兵, 辰巳 順一, 申 基喆”, “抗菌光線力学療法は慢性歯周炎患者に対して有効か”, 第 5 回関東 9 大学歯周病学講座・JACP 関東支部合同研修会, 東京, 2016, 2
- 6) 石井 麻紀子, 遠藤 学, 中島 明敏, 新家 央康, 権 海尚, 三宅 唯夫, 鈴木 允文, 林 丈一朗, 申 基喆, “歯周炎患者におけるコーヌステレスコープ義歯が支台歯の予後に及ぼす影響に関する後ろ向き研究 (第 2 報)”, 第 59 回春季日本歯周病学学会学術大会, 鹿児島, 2016, 5
- 7) 鈴木 允文, 小玉 治樹, 安井 絢子, 石井 麻紀子, 谷田部 一大, 申 基喆, “歯周病学をテーマとした明海大学型少人数制グループ実習「Vertical Tier」の教育効果”, 平成 27 年度埼玉県歯科医学大会, さいたま市, 2016, 2
- 8) 小玉 治樹, 林 丈一朗, 安井 絢子, 林 鋼兵, 鈴木 允文, 石井 麻紀子, 大塚 秀春, 谷田部 一大, 辰巳 順一, 申 基喆, “歯周病患者におけるインプラント周囲疾患に関する臨床研究 第 1 報: プロービング時の出血の陽性率について”, 第 59 回秋季日本歯周病学学会学術大会, 新潟, 2016, 10
- 9) 新家 央康, 林 丈一朗, 申 基喆, “重度慢性歯周炎患者に対してインプラント治療による口腔機能回復治療を行った長期経過症例”, 平成 27 年度埼玉県歯科医学大会, さいたま市, 2016, 2
- 10) 林 丈一朗, 谷田部 一大, 申 基喆, “審美領域における低侵襲な臨床的歯冠長延長術”, 第 23 回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016, 10
- 11) 林 鋼兵, 中丸 陽一, 辰巳 順一, 申 基喆, “難治性の歯周-歯内病変に対し抗菌光線力学療法 (a-PDT) と遊離歯肉移植術を行った症例”, 平成 27 年度埼玉県歯科医学大会, さいたま市, 2016, 2
- 12) 大西 英知, 申 基喆, “複数歯の歯肉退縮に根面被覆術を試みた一症例”, 平成 27 年度埼玉県歯科医学大会, さいたま市, 2016, 2
- 13) 鈴木 允文, 申 基喆, “明海大学型少人数制グループ実習「Vertical Tier」における学習効果”, 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 2016, 7

- 14) 大塚 秀春, 林 丈一朗, 申 基喆, 明海大学病院糖尿病総合外来における歯周治療に関する疫学調査および症例報告, 平成 27 年度埼玉県歯科医学大会, さいたま市, 2016, 2
- 15) 大塚秀春, 辰巳順一, 申 基喆, 咬合性外傷を伴う慢性歯周炎患者に対して a-PDT と歯周組織再生治療を併用した 1 症例, 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016, 5
- 16) 大塚 秀春, 林 鋼兵, 辰巳 順一 , 申 基喆, 咬合性外傷を伴う慢性歯周炎患者に対して a-PDT と歯周組織再生治療を併用した 1 症例, 平成 28 年度埼玉県歯科医学大会, さいたま市, 2017, 2

E. その他の研究会、講演など

- 1) 辰巳順一, Version up ! 歯周病 歯周病治療のどこが変わった! 変わらない?, 明海大学歯学部同窓会群馬県支部学術講演会, 高崎, 2016 年 3 月 5 日, 2016, 3
- 2) 申 基喆, インプラントの長期安定を目指したソフトティッシュ・マネージメント, 公益社団法人日本口腔インプラント学会 第 26 回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会, 鶴見大学, 2016, 6
- 3) 辰巳順一, インプラントベーシックプログラム Session 4 インプラント周囲のティッシュマネージメント, 明海大学朝日大学歯学部生涯研修、浦安 PDI、2016 年 1 月 30 日, 2016, 1
- 4) 辰巳順一, インプラントベーシックプログラム Session 4 インプラント周囲炎の診断と治療, 明海大学朝日大学歯学部生涯研修、浦安 PDI、2016 年 1 月 31 日, 2016, 1
- 5) 辰巳順一, インプラントベーシックプログラム Session 5 歯周病患者へのインプラント治療, 明海大学朝日大学歯学部生涯研修、浦安 PDI、2016 年 2 月 20 日, 2016, 2
- 6) 林 丈一朗, クリニカルステップアップセミナー ステップアップ歯周基本治療, 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 新宿, 2016, 5
- 7) 申 基喆, 林 丈一朗, デンタルスーチャリングとフラップ手術(エムドゲイン実習を含む), 明海大学歯学部同窓会 2015 年度学術研修会, 2016 年 1 月 17 日, 上野, ヨシダホール, 2016, 1
- 8) 申 基喆, ペリオとインプラントのためのスーチャリングテクニック, 明海大学朝日大学歯学部生涯研修、新宿、2016 年 10 月 1-2 日, 2016, 10
- 9) 申 基喆, "ランチョンセミナー1
- 10) 「歯周病患者の口腔ケア ~なぜソニックエアーが選ばれるのか?」, 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016, 10
- 11) 林 丈一朗, 今, ブラッシング指導に求められる意識改革とは, 第 39 回中部日本デンタルショー・企画講演, 名古屋市中小企業振興会館, 2016 年 2 月 20 日, 2016, 2
- 12) 申 基喆, 歯周形成手術によるソフトティッシュ・マネージメント, 明海大学

- 歯学部同窓会北海道ブロック大会学術講演, 札幌, 2016, 8
- 13) 辰巳 順一, 歯周治療ベーシックシリーズ 歯周外科処置の基本 (歯周治療 III), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 新宿, 2016年7月2日, 2016, 7
 - 14) 林 丈一朗, 歯周治療ベーシックシリーズ 歯周基本治療 (歯周治療 II), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 新宿, 2016, 5
 - 15) 林 丈一朗, 歯周治療ベーシックシリーズ 歯周治療の診査・診断と治療計画 (歯周治療 I), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 新宿, 2016, 5
 - 16) 申 基喆, 知ってほしい歯周病と糖尿病の関係, 埼玉県市民公開講座「糖尿病と歯周病の関係」, 2016, 2

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 研究代表者: 申 基喆 研究分担者: 辰巳順一、林 丈一朗、大塚秀春、鈴木允文、林 鋼兵, 歯周病患者に対するインプラント治療におけるインプラント周囲炎のリスク因子を探る, 科学研究補助金 基盤研究(C) H29-32年度, 2017, 4
- 2) 研究代表者: 大塚秀春 研究分担者: 申 基喆、辰巳順一、林丈一朗、谷田部一大、石井麻紀子, “低出力パルス超音波が歯周外科後の創傷治癒に与える効果”, 科学研究補助金 基盤研究(C) H28-30年度, 2016, 4
- 3) 林 丈一朗, 友村 明人, 申 基喆, 辰巳順一, 谷田部 一大, 閉鎖系細胞分離システムを用いた歯槽骨由来の骨髄間葉系幹細胞による再生療法の開発, 科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究(課題番号 26670894), 2016, 4

3. 宮田研究奨励金(A)および(E)

- 1) 鈴木允文, 慢性歯周炎におけるメカニカルストレスによる骨吸収の分子メカニズムに関する研究, 宮田研究奨励金【A】, 2016, 6

基礎化学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) "Honda A, Noda K, Tamaki Y and Miyamura K", Surface Structures Formed by a Copper(II) Complex of Alkyl-Derivatized Indigo, "materials 2016, 9, 837", 2016, 10
- 2) "Kakihara S, Saeki M, Ichimura S, Tamaki Y and Miyamura K", "Crystal Structure of Benzyl dimethyl (ω -cyclohexylethyl) ammonium Bis(2-thioxo-1,3-dithiole-4,5-dithiolato)nickelate(III)", "X-Ray Structure Analysis Online 2017, VOL. 33, 15-16", 2017, 3

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) "柿原俊太, 佐伯雅弘, 市村脩平, 田巻義規, 野元邦治, 宮村一夫", 嵩高い置換基を有するアルキル四級アンモニウムをカチオンとして用いた [Ni(dmit)₂] 錯体結晶, 錯体化学会第 66 回討論会、福岡大学 七隈キャンパス, 2016, 9
- 2) "谷口航平, 吉田幸史, 田巻義規, 宮村一夫", "o-, p-位にアルコキシ基を持つ Ni(II)salen 誘導体の熱挙動分析", 錯体化学会第 66 回討論会、福岡大学 七隈キャンパス, 2016, 9
- 3) "友野和哲, 村田実愛, 八幡侑馬, 柿原俊太, 田巻義規", Co 錯体/MnO₂ 薄膜の一段階作製とその光電気化学応答, 錯体化学会第 66 回討論会、福岡大学 七隈キャンパス, 2016, 9
- 4) "塩谷勇亮, 佐伯雅弘, 柿原俊太, 田巻義規, 野元邦治, 宮村一夫", フェニルアルキル基を有する Schiff 塩基金属錯体の結晶構造及び熱的挙動の系統的变化, 錯体化学会第 66 回討論会、福岡大学 七隈キャンパス, 2016, 9
- 5) "大谷英嗣, 吉田幸史, 本田暁紀, 田巻義規, 野元邦治, 宮村一夫", 窒素架橋部にフェニル基を導入した Ni(II)salen 誘導体の熱特性, 錯体化学会第 66 回討論会、福岡大学 七隈キャンパス, 2016, 9
- 6) "関澤翔弥, 宮村一夫, 野元邦治, 田巻義規, 本田暁紀", アルキル基を有する Schiff 塩基金属錯体の熱的性質, 錯体化学会第 66 回討論会、福岡大学 七隈キャンパス, 2016, 9
- 7) "新保翔平, 塩谷勇亮, 柿原俊太, 田巻義規, 野元邦治, 宮村一夫", アルキル基およびフェニルアルキル基を有する Schiff 塩基金属錯体の鎖長変化に伴う結晶構造の系統的变化, 錯体化学会第 66 回討論会、福岡大学 七隈キャンパス, 2016, 9

- 8) "福島優太, 柿原俊太, 田巻義規, 野元邦治, 宮村一夫", N-位にペンダント基を有した大環状錯体 cyclam の結晶構造, 錯体化学会第 66 回討論会、福岡大学 七隈キャンパス, 2016, 9
- 9) "河村捺希, 石山祐太, 田巻義規, 野元邦治, 宮村一夫", cyclam 配位子を用いた溶液中の Ag(I) イオンの検出, 錯体化学会第 66 回討論会、福岡大学 七隈キャンパス, 2016, 9
- 10) "槿優衣, 孔山勇貴, 友野和哲, 坂本遼, 田巻義規", 廃棄物シリコンの不純物を用いたブロモ反応の反応性と選択性の向上, 第 19 回化学工学会学生発表会、大阪大学 豊中キャンパス, 2017, 3

機能保存回復学講座

歯科生体材料学分野

歯科補綴学分野（有床義歯）

歯科補綴学分野（クラウン・ブリッジ）

保存治療学分野

オーラル・リハビリテーション学分野

摂食嚥下リハビリテーション学分野

基礎物理学分野

歯科生体材料学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 日比野 靖, 長沢悠子, 重田浩貴, 中嶌 裕: Introduction to Practical Dental Materials, 学建書院, 2016年
- 2) Garcia-Contrerans R, Scougall-Vilchis J, Contreras-Bulnes R, Sugimoto M, Nakajima H and Sakagami H: Chapter 3: Effect of titanium dioxide nanoparticle on proliferation, drug-sensitivity, inflammation, and metabolomic profiling of human oral cells. In: Nanobiomaterials in Dentistry Application of nanobiomaterial. A. M. Grumezescu (ed), Elsevier Inc., pp.49-78, 2016.

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 峯岸至保, 日比野 靖, 中嶌 裕, 須田直人: 矯正歯科用レジン添加型ガラスアイオノマーセメントを用いたメタルブラケットとエナメル質の接着強さーサーマルサイクルと粉液比が接着強さに及ぼす影響ー. 接着歯学, 34, 68-81, 2016

2. 総説

- 1) 中嶌 裕: これからの歯科材料を考える. 咬み合わせの科学, 36, 11-16, 2016

C. その他の刊行物など

- 1) 日比野 靖: 歯科用セメントを再考する セメントの粉液採取方法とその物性の関係. 咬み合わせの科学, 36, 83-86, 2016
- 2) 中嶌 裕, 板野守秀: TC106/SC7 オーラルケア用品総会. 第52回 ISO/TC106 トロムソ会議報告書, 日本歯科材料器械協議会, 東京, 96-101, 2016

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Nagasawa Y, Hibino Y, Shigeta H and Nakajima H: Flexural strength of dual-cured provisional resin with and without visible-light. Academy of Dental Materials 2016 Annual Meeting. Chicago, Illinois, U.S.A., 2016
- 2) Shigeta H, Hibino Y, Nagasawa Y and Nakajima H: Transparency of highly viscous conventional glass ionomers after long-term immersion. Academy of

Dental Materials 2016 Annual Meeting. Chicago, Illinois, U.S.A., 2016

- 3) Carrabba M, Nagasawa Y and Ferrari M: Zirconia-zirconia shear bond strength: Influence of substrate and cement compositions. 95th General Session & Exhibition of International Association of Dental Research. San Francisco, California, U.S.A., 2017

2. 全国学会

(3)一般演題

- 1) 日比野 靖, 長沢悠子, 重田浩貴, 栗田 智, 松本賢一, 尾松 純, 和田賢一, 中畷 裕:保管条件が高強度充填用ガラスアイオノマーセメントの透明度に及ぼす影響. 第 67 回日本歯科理工学会学術講演会, 福岡, 2016 年 4 月.
- 2) 重田浩貴, 長沢悠子, 和田賢一, 日比野 靖, 松本賢一, 栗田 智, 尾松 純, 中畷 裕: 試作充填用レジン添加型ガラスアイオノマーセメントの牛歯象牙質に対するせん断接着強さ. 第 67 回日本歯科理工学会学術講演会, 福岡, 2016 年 4 月.
- 3) 藤田崇史, 菅原絹枝, 遠藤 聡, 河合美貴子, 磯貝知範, 片山 直, 日比野 靖, 中畷 裕, 藤澤政紀: CAD/CAM 冠用レジンブロックに関する色彩学的検討ー上顎小臼歯との比較ー. 第 125 回日本補綴歯科学会学術大会, 金沢, 2016 年 7 月.
- 4) 重田浩貴, 長沢悠子, 日比野 靖, 中畷 裕: 親水性多官能性モノマーを用いた試作レジン添加型ガラスアイオノマーセメントの特性. 第 23 回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016 年 10 月.

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 日比野 靖: 基盤研究(C), 訪問診療での使用を目的とした低膨張性レジン添加型ガラスアイオノマーセメントの開発.

歯科補綴学(有床義歯)

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 濱坂弘毅, 曾根峰世, 大川 穰, 染川正多, 上田脩司, 増田美至, 松井藍有美, 豊田有美子, 奥津史子, 松川高明, 岡本和彦, 大川周治, CAD/CAMにより製作したジルコニア製根面板の適合精度に関する基礎的研究, 日磁歯誌 25(1)45-50, 2016, 12
- 2) 松井藍有美, 沼澤美詠, 奥津 史子, 大川 穰, 染川 正多, 上田 脩司, 岡本 和彦, 大川 周治, 下顎遊離端欠損症例における部分床義歯の設計が咀嚼機能に及ぼす影響ーリングアルエプロンとリングルバーとの比較ー, 明海歯学 45(2)131-140, 2016, 9

3. 症例報告

- 1) 岡本和彦, 上田脩司, 奥津史子, 染川正多, 大川 穰, 大川周治, 高齢者に対して治療用義歯を応用した無歯顎補綴治療の一症例, 明海歯学 45(2)161-167, 2016, 9
- 2) 曾根峰世, 増田美至, 大川穰, 染川正多, 松井藍有美, 濱坂弘毅, 豊田有美子, 奥津史子, 松川高明, 岡本和彦, 大川周治, 磁性アタッチメントを用いて即日義歯修理を行った症例, 日磁歯誌 25(1)80-85, 2016, 12

C. その他の刊行物など

- 1) 岡本和彦, 歯冠補綴治療におけるファイバーポスト併用レジン支台築造の術式と意義性について, "埼歯だより, 562, 14-19", 2016, 8
- 2) 大川 周治, 阿部 實, 阿部 泰彦, 飯沼 学, 漆原 優, 大久保 力廣, 岡根秀明, 川上 清志, 栗原 大介, 小出 馨, 佐藤利英, 曾根峰世, 高松克典, 田中晋平, 永田 省藏, 西端 英典, 西山 弘崇, 馬場 一美, 藤関 正嗣, 松田 一雄, 水橋 史, 新時代のパーシャルデンチャーの考え方. IN:エキスパートたちが教えるパーシャルデンチャーの Pitfall と回避策 35, 大川周治編. , ヒョーロン・パブリッシャーズ, 東京, pp8-24. 140-141. 2016, 5
- 3) 豊田有美子, 大川周治, 味覚 In:新 よくわかる顎口腔機能 咬合・摂食嚥下・発音を理解する, 日本顎口腔機能学会編, 医歯薬出版, 東京, p p 135-137, 2017, 2

D. 学会発表

1. 国際学会

(3)一般演題

- 1) "H. HAMASAKA, M. SONE, Y. OKAWA, S. SOMEKAWA, S. UEDA, M. MASUDA, A. MATSUI, Y. TOYOTA, F. NARUMI, T. MATSUKAWA, K. OKAMOTO, and S. OHKAWA", A basic study

on the accuracy of a zirconia coping fabricated by CAD/ CAM system-Effect of abutment modification-,The 16th International Conference on Magnetic Applications in Dentistry General Information,2017,2

- 2) "S. UEDA, M. SONE, M. HAMASAKA, Y. OKAWA, S. SOMEKAWA, M. MASUDA, A. MATUI, Y. TOYOTA, F. NARUMI, T. MATSUKAWA, K. OKAMOTO and S. OHKAWA",A basic study on accuracy of a zirconia coping fabricated by CAD/CAM system -Application for post for scanning-,The 16th International Conference on Magnetic Applications in Dentistry General Information,2017,2

2. 全国学会

(3)一般演題

- 1) 染川 正多, 豊田有美子, 松川 高明, 濱坂 弘毅, 大川 穰, 増田 美至, 戸邊武一, 曾根峰世, 岡本和彦, 大川周治, 30代健常有歯顎者の4基本味における味覚機能のスクリーニング検査法について, 平成28年度(公社)日本補綴歯科学会 第125回学術大会(金沢), 2016, 7
- 2) 松井藍有美, 沼澤 美詠, 奥津 史子, 遠藤 舞, 大川 穰, 染川正多, 磯貝佳史, 西脇信文, 岡本和彦, 大川周治, 下顎遊離端欠損症例における部分床義歯の設計が咀嚼機能に及ぼす影響, 平成28年度(公社)日本補綴歯科学会 第125回学術大会(金沢), 2016, 7
- 3) 濱坂 弘毅, 曾根 峰世, 大川 穰, 染川 正多, 上田 脩司, 増田 美至, 松井藍有美, 豊田有美子, 奥津史子, 松川高明, 岡本和彦, 大川周治, CAD/CAMにより製作したジルコニア製根面板の適合精度に関する基礎的研究-支台歯形態による影響-, 第26回日本磁気歯科学会学術大会(岐阜), 2016, 11
- 4) 上田脩司, 曾根峰世, 濱坂弘毅, 大川 穰, 染川正多, 増田美至, 松井藍有美, 豊田有美子, 奥津史子, 松川高明, 岡本和彦, 大川周治, CAD/CAMにより製作したジルコニア製根面板の適合精度に関する基礎的研究-スキャニング用ポストの応用-, 第26回日本磁気歯科学会学術大会(岐阜), 2016, 11
- 5) 奥津史子, 松井藍有美, 松川高明, 豊田有美子, 遠藤 舞, 濱坂弘毅, 大川 穰, 染川正多, 大川周治, 下顎遊離端欠損症例における部分床義歯の設計が咀嚼機能に及ぼす影響-リングルエプロンとリングルバーとの比較-, 日本顎口腔機能学会第56回学術大会(東京), 2016, 4
- 6) 曾根峰世, 濱坂弘毅, 奥津史子, 松川高明, 豊田有美子, 大川 穰, 染川正多, 上田脩司, 岡本和彦, 大川周治, 磁性アタッチメント義歯における設計の相違と予後との関連性について, 日本歯科医学会27回全国大会(福岡), 2016, 10
- 7) 奥津 史子, 豊田 有美子, 大川 穰, 染川 正多, 上田脩司, 大川周治, 過剰な嘔吐反射を有する患者への心身医学的療法の応用, 第26回全身咬合学会(東京), 2016, 11
- 8) 豊田 有美子, 奥津 史子, 大川 穰, 染川正多, 上田脩司, 大川周治, 口腔不定愁

- 訴を有する患者における漢方治療の有用性, 第 26 回全身咬合学会(東京), 2016, 11
- 9) 大川 穰, 奥津史子, 豊田有美子, 染川正多, 上田脩司, 大川周治”, 嗅覚刺激が睡眠時ブラキシズムに及ぼす影響, 第 26 回全身咬合学会(東京), 2016, 11

3. 地方会

(3)一般演題

- 1) 豊田有美子, 口腔不定愁訴を有する患者における漢方治療の有用性, 明海歯科医学会第 28 回学術大会, 2016, 6
- 2) 鳴海史子, 松川 高明, 濱坂弘毅, 大川 穰, 松井藍有美, 増田 美至, 岡本和彦, 大川周治, 過剰な嘔吐反射を有する患者の主観的・客観的検査の有用性について, 平成28年度(公社)日本補綴歯科学会 東関東支部総会・第20回学術大会(千葉), 2017, 2
- 3) 豊田有美子, 遠藤 舞, 曾根峰世, 染川正多, 上田脩司, 磯貝佳史, 岡本和彦, 大川周治, 口腔乾燥症に対する漢方治療の有用性, 平成28年度(公社)日本補綴歯科学会 東関東支部総会・第20回学術大会(千葉), 2017, 2

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 安井利一(研究代表者)、竹下 玲(分担者)、岡本和彦(分担者)、高野安紀子(分担者), 細胞内に侵入した歯周病原性細菌の病態形成機構とその侵入細菌の除去薬剤の検索, ”日本学術振興会(文部科学省科学)研究費補助金 基盤研究(C)”, 2017, 5
- 2) 大川周治(研究代表者), 村本和世, 藤澤政紀, 長谷川彰彦: 睡眠時ブラキシズムの ナチュラル抑制療法の新開発, 科学研究費助成事業 基盤研究(B)25293398, 2013-2017
- 3) 大岡貴史(研究代表者)、大川周治(分担者)、村本和世(分担者): 自閉症モデルラットにおける離乳期の味覚経験と摂食行動との関連, 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 15K11428 2015-2018

歯科補綴学(クラウン・ブリッジ)

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 渡邊明, 藤澤政紀, 覚醒時ブラキシズムの評価法, 新よくわかる顎口腔機能咬合・摂食嚥下・発音を理解する. 2017: 78-79, 2017, 2
- 2) 佐藤雅介, 藤澤政紀, バイオフィードバック, 新よくわかる顎口腔機能咬合・摂食嚥下・発音を理解する. 2017: 119-120, 2017, 2

2. 訳本

- 1) 藤澤政紀, 野露浩正, 岩田健男, 咬合:現状における概説と提言, *The International Journal of Periodontics & Restorative Dentistry*, Vol.24, Number 1, 2016, February, 18-25, 2016, 2
- 2) 藤澤政紀, 治療計画と診断, In: 咬合のサイエンスとアート(古谷野潔監訳), *The Science and Art of Occlusion and Oral Rehabilitation*. Martin Gross, PP365-382 (クインテッセンス出版), 2016, 7

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Asano A, Tanabe N, Kanemura K, Kudo T, Suzuki K, Noda M, Kanji I, Fujisawa M, A cohort study on the relationship between temporomandibular disorders and egogram, *J Psychosom Oral Med*, 31(1), 11-17, 2016, 6.
- 2) 菅原絹枝, 遠藤聡, 猪野照夫, 野露浩正, 勅使河原大輔, 藤澤政紀, 内部付着したエpiteーゼに応用可能な新規シリコーン材の色彩学的検討, *顎顔面補綴*, 39 (1), 21-25, 2016, 6.
- 3) 河合美貴子, 遠藤聡, 佐藤雅介, 磯貝 知範, 菅原 絹江, 大塚 英稔, 勅使河原大輔, 斉藤 小夏, 橋戸 広大, 藤田 崇史, 野露 浩正, 渡邊 明, 岩瀬 直樹, 猪野 照夫, 藤澤 政紀, 天然歯における色彩学的研究—上顎左右切歯における歯冠厚径と色調の関連—, *明海歯学*, 45(2), 122-130, 2016, 8.
- 4) 渡邊 明, 木村 英敏, 佐藤 雅介, 大塚 英稔, 斉藤 小夏, 菅原 絹枝, 橋戸 広大, 岩瀬 直樹, 猪野 照夫, 藤澤 政紀, 咀嚼筋筋電図バイオフィードバック訓練による日中クレンチング抑制効果の持続性に関する検討, *顎機能誌*, 22(2), 109-119, 2016, 12.
- 5) Matsuka Y, Hagiwara Y, Tamaki K, Takeuchi H, Fujisawa M, Ono T, Tsukiyama Y, Nagao K, Tsuga K, Aita H, Kondo H, Fueki K, Tsukasaki H, Nishigawa K,

Ozawa S, Kuwatsuru R, Minakuchi H, Iinuma T, Matsuura T, Ishibashi K, Fujii S, Hirai T, Sasaki K, Yatani H, Igarashi Y, Sato Y, Ichikawa T, Yamamori T, Kuboki T, Baba K, Koyano K, Sato H, Matsumura H, Reliability and validity of the patient disability-oriented diagnostic nomenclature system for prosthetic dentistry, J Prosthodont Res, 61(1), 20-33, 2017, 1.

2. 総説

- 1) Tamaki K, Ishigaki S, Ogawa T, Oguchi H, Kato T, Suganuma T, Shimada A, Sadamori S, Tsukiyama Y, Nishikawa Y, Masumi S, Yamaguchi T, Aita H, Ono T, Kondo H, Tsukasaki H, Fueki K, Fujisawa M, Matsuka Y, Baba K, Koyano K, Japan Prosthodontic Society position paper on occlusal discomfort syndrome, J Prosthodont Res, 60(3), 156-166, 2016, 4.
- 2) 矢谷 博文, 藤澤 政紀, 松香 芳三, 會田英紀, 尾澤昌悟, 桑鶴莉香, 近藤尚知, 水口 一, 山下秀一郎, 飯塚知明, 佐藤雅介, ブラキシズムの診療ガイドライン-睡眠時ブラキシズム患者に対する各種の検査について-, <http://www.hotetsu.com/s/doc/#.pdf> (公益社団法人 日本補綴歯科学会), 2016, 11.

C. その他の刊行物など

- 1) 藤澤 政紀, チェアサイドとベットサイドをつなぐ睡眠時ブラキシズムの診断と治療, 日補綴会誌, 8(2), 138-139, 2016, 4.
- 2) 藤澤 政紀, 口元の印象で、その人自身の生き方も変わる 歯をきれいにして、若返ろう 本気で探す 頼りになるいい歯医者さん 2017, 2016, 18-19, 2016, 10.
- 3) 藤澤 政紀, 「補綴前処置」という言葉からインターディシプリナリーのあり方を考える, Q D T, 1530, 2016, 11.
- 4) 藤澤 政紀, 土屋 和子, 和泉 雄一, 古畑 升, 葛西 隆敏, 石見 拓, フリップス シンポジウム 2016 医科歯科連携による健康寿命を延ばすトータルケア-地域医療のあり方を見直す。一, 新聞 QUINT, 第 252 号, 2016, 12.

D. 学会発表

1. 国際学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) Fujisawa M, International Exchange Program in MeiKai University School of Dentistry, The 2016 Silk Road International Forum on Stomatology (Xi'an), 2016, 8.

(3) 一般演題

- 1) Sugawara K, Endo S, Noro H, Teshigawara D, Ino T and Fujisawa M, Colorimetric Evaluation of Internal Coloration Characteristics of New Silicone Epithesis, 94th General Session & Exhibition of the IADR, Seoul, Korea, 2016, 6.
- 2) Fujisawa M, Otsuka H, Sato M, Saito K, Watanabe A, Effect of Daytime EMG Biofeedback Training on EEG during Sleep, 94th General Session & Exhibition of the IADR, Seoul, Korea, 2016, 6.
- 3) Saito K, Sato M, Otsuka H, Watanabe A, Terada N, Fujisawa M, Effect of Daytime EMG Biofeedback Training on Nocturnal Grinding, 94th General Session & Exhibition of the IADR. Seoul, Korea, 2016, 6.

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 大塚英稔, 萬田陽介, 酒井翔梧, 顎口腔機能の低下予防に関する多分野アプローチによる挑戦, 日本顎口腔機能学会 第56回学術大会, 2016, 4.
- 2) 斉藤小夏, 価値・質の高い「ヒトを対象とした研究」を行うために ~臨床現場・大学における 若手研究者と指導者の視点を考える~, 日本顎口腔機能学会 第57回学術大会, 2016, 10.
- 3) 藤澤政紀, 咀嚼筋筋電図バイオフィードバックによる Bruxism コントロール, 第23回日本歯科医学会総会 (福岡), 2016, 10.

(3) 一般演題

- 1) 勅使河原大輔, 猪野照夫, 野露浩正, 菅原絹枝, 遠藤 聡, 藤澤政紀, 体表上の微細形状と色調に関する研究 —立体形状と色調の関係について—, 一般社団法人 日本顎顔面補綴学会 第33回 総会・学術大会, 2016, 6
- 2) 勅使河原大輔, 猪野 照夫, 野露 浩正, 日高 達哉, 橋戸 広大, 山内 雅司, 藤澤 政紀, 汎用デジタルカメラを用いた顔面形状計測, 公益社団法人 日本補綴歯科学会第125回学術大会 (金沢), 2016, 7
- 3) 藤田崇史, 菅原絹枝, 遠藤 聡, 河合美貴子, 磯貝知範, 片山 直, 日比野 靖, 中嶋 裕, 藤澤政紀, CAD/CAM 冠用レジンブロックに関する色彩学的検討—上顎小臼歯との比較—, 公益社団法人 日本補綴歯科学会第125回学術大会 (金沢), 2016, 7
- 4) 大塚英稔, 佐藤雅介, 斉藤小夏, 渡邊明, 岩瀬直樹, 藤田崇史, 吉田有里, 藤澤政紀, 日中の咀嚼筋筋電図バイオフィードバック訓練が睡眠時の脳波に及ぼす影響, 公益社団法人 日本補綴歯科学会第125回学術大会 (金沢), 2016, 7
- 5) 菅原絹枝, 勅使河原大輔, 藤田崇史, 岩瀬直樹, 藤澤政紀, CBCT を用いた歯質厚径計測法に関する検討, 第27回日本歯科審美学会学術大会 (札幌), 2016, 8

- 6) 佐藤雅介, 渡邊 明, 藤澤政紀, 覚醒時ブラキシズムに対するバイオフィードバック訓練による睡眠時ブラキシズム抑制効果について, 第23回日本歯科医学会総会 (福岡), 2016, 10

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 橋戸広大, 勅使河原大輔, 猪野照夫, 岩瀬直樹, 佐藤雅介, 大塚英稔, 斉藤小夏, 藤澤 政紀, μ CT 画像を用いた CAD/CAM ク라운の適合性評価, 平成28年度公益社団法人日本補綴歯科学会東関東支部学術大会・第20回学術大会 (千葉), 2017, 2
- 2) 勅使河原大輔, 猪野照夫, 鈴木正二, 福田正勝, 坂下英明, 岩田昌久, 藤澤政紀, 上顎腫瘍切除後に即時顎義歯を装着した2症例, 平成28年度埼玉県歯科医学大会 (さいたま市), 2017, 2

E. その他の研究会、講演など

- 1) 藤澤政紀, 医科歯科連携による健康寿命を延ばすトータルケア-地域医療のあり方を見直す-, フィリップスシンポジウム2016 (東京), 2016, 9
- 2) 藤澤政紀: ブラキシズムに対するEMGバイオフィードバックと睡眠の関係. 岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座セミナー (盛岡), 2016, 6
- 3) 斉藤小夏, 日中のバイオフィードバック訓練が夜間のグラインディングに及ぼす影響, 明海歯科医学会第29回学術大会第19回中間研究発表会, 2016, 6

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 藤澤政紀 (代表研究者) 筋電図バイオフィードバック訓練による咀嚼筋痛患者の症状改善に関する多施設研究 (基盤B)

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 佐藤雅介, 覚醒時ブラキシズムに対するEMGバイオフィードバック訓練が夜間睡眠時のブラキシズムおよび睡眠の質に及ぼす影響, 2016年度宮田研究奨励金【A】, 2016, 4
- 2) 斉藤小夏, 日中の咀嚼筋筋電図バイオフィードバック訓練が夜間のグラインディングも抑制する, 2016年度宮田研究奨励金【E】, 2016, 4

保存治療学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) “横瀬敏志”, 概論：インプラント治療における歯科用レーザーの応用を再考する, “Quintessence DENTAL Implantology, 23, 12-19”, 2016, 5
- 2) 須田立雄, 横瀬敏志, “新 骨の科学 第2版 第3章 2. 骨(軟骨)の形を決めるホメオボックス遺伝子 須田立雄, 小澤英浩, 高橋栄明編”, “医歯薬出版株式会社, 東京, pp63-65”, 2016, 5

B. 学術論文

1. 原著

- 1) “Yamazaki T, Kikui T and Yokose S”, Histological demonstration of bone healing in rat tibiae influenced by diode laser irradiation., “日本レーザー医学会誌 第37巻第1号 80-86”, 2016, 4
- 2) “Yamazaki T, Kikui T and Yokose S”, Histological demonstration of bone healing in rat tibiae influenced by diode laser irradiation., “日本レーザー医学会誌, 37, 80-86, 2016, 4
- 3) “鈴木 瑛子, 中村 裕子, 井出 祐樹, 上田 堯之, 石岡 和仁, 高橋 淳哉, 日下洋平, 山崎崇秀, 小林健二, 門倉弘志, 市村 葉, 横瀬敏志”, “ラット脛骨骨欠損部における Er : YAG レーザーの LLLT の作用について”, “日本歯科レーザー雑誌, 27, 1-7”, 2016, 4
- 4) 中村 裕子, 井出 祐樹, 鈴木 瑛子, 上田 堯之, 日下 洋平, 横瀬 敏志, “Mineral Trioxide Aggregate による象牙質-歯髄複合体再生の組織学的検討”, “日本歯科保存学会学術雑誌 59. 370-380, 2016, 9

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) “Yamazaki T, Kadokura H, Ueda T and Yokose S”, Effect of Diode Laser Irradiation on Bone Healing in Rat Tibiae., “17th World Federation for Laser Dentistry. Nagoya, Japan.”, 2016, 7
- 2) その他, “横瀬敏志”, “歯髄再生療法とレーザー治療”, “腎と骨代謝, 29, 49-58”, 2016, 3
- 3) NAKAMURA Yuko, IDE Yuki, SUZUKI Eiko, UEDA Takayuki, KUSAKA Youhei, YOKOSE Satoshi, “Immunohistochemical Study Regeneration of Dental-pulp

Complex Induced by MTA, International Association for Dental Research(San Francisco, Calif.USA), 2016, 3

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 上田 堯之, 門倉 弘志, 山崎崇秀, 鈴木瑛子, 高橋淳哉, 石岡和仁, 藤原ひかり, 横瀬 敏志, ラット培養歯髄細胞の dentinogenesis における ectodin と wnt シグナルの影響について, 第 144 回日本歯科保存学会, 栃木, 2016, 6
- 2) 中村 裕子, 井出 祐樹, 高橋 淳哉, 日下 洋平, 横瀬 敏志, エナメルマトリックス蛋白の血管新生への効果, 第 34 回日本顎咬合学会・総会 (東京), 2016, 6

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 中村裕子, 森一将, Enamel matrix protein による歯髄創傷治癒のメカニズムを探る, 日本学術振興会, 科学研究費報告, 2016, 3

オーラル・リハビリテーション学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 溝部健一, 川邊好弘, 荒木久生, CBCT を応用して根面被覆の術式選択を行った一症例, 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 2016, 10
- 2) 松田 哲, 飯倉拓也, 草間淳, 飯塚奈々, 小澤万純, 大竹千尋, 荒木久生, Comparison of the effectiveness of whitening agents using brown eggs, "明海歯科医学会明海歯科医学雑誌 46(1), 1-6, 2017", 2017, 2
- 3) "Satoru Matsuda, Takuya Iikura, Jun Kusama, Nana Iizuka, Masumi Ozawa, Chihiro Otake and Hisao Araki", Comparison of the Effectiveness of Whitening Agents using Grown Eggs., "明海歯学. 46, 1-6, 2017", 2017, 2
- 4) "Yoshihiro Kawabe, Kenichi Mizobe, Yasuhiko Bando, Koji Sakiyama, Fuyuko Taira, Akito Tomomura, Hisao Araki and Osamu Amano", Morphological Changes of Myoepithelial Cells in the Rat Submandibular Gland Following the Application of Surgical Stimuli, "Acta Histochem. Cytochem. 49, 159-169, 2016", 2016, 12

3. 症例報告

- 1) 症例報告, 島田成章, 松本篤樹, 鈴木玲爾, 荒木久生, 咬合崩壊患者に対しプロビジョナルレストレーションを用いて, 咬合再構成を行った一症例, 日本顎咬合学会誌 第 36 巻 第 1・2 合併号, 2016, 4

C. その他の刊行物など

- 1) その他, 松田 哲, 実践ライブラリー プロビジョナルレストレーションの作り方・使い方, "デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND 第 42 巻第 2 号 25-40", 2017, 2

D. 学会発表

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 天野 修, 川邊 好弘, 溝部 健一, 平良 芙蓉子, 三宅 言輝, 崎山 浩司, 荒木 久生, "外分泌腺における筋上皮の意義—唾液腺筋上皮の形態変化—", 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術大会, 2016, 3
- 2) 松田 哲, 支台歯形成, 日本顎咬合学会 2016 年 関東甲信越支部 学術大会 東京, 2016, 11

(3) 一般演題

- 1) 草間 淳, 松田 哲, 飯倉拓也, 大竹千尋, 荒木久生, ポリリン酸成分を用いたオフィスホワイトニングの漂白効果, 第 34 回日本顎咬合学会学術大会, 東京, 2016, 6
- 2) 若菜健弘, 荒木久生, 下顎の偏位を修正するためにオーバーデンチャーとした一症例, 第 34 回日本顎咬合学会学術大会, 東京, 2016, 6
- 3) 飯倉拓也, 松田 哲, 草間淳, 大竹千尋, 荒木久生, 褐色鶏卵卵殻を使用したホワイトニングシステムの比較, "日本顎咬合学会 第 34 回 日本顎咬合学会 学術大会・総会 東京", 2016, 6
- 4) 溝部健一, 川邊好弘, 荒木久生, 根面被覆の術式選択に CBCT を応用した 1 症例, 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 2016, 10
- 5) 玉置佳嵩, 松本篤樹, 鈴木玲爾, 歯槽骨整形術を応用し, 歯間部歯肉形態を改善した一症例, 第 34 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2016, 6
- 6) 国内学会一般発表, 鈴木玲爾, 松本篤樹, 嶋田淳, 上皮下結合組織移植術とプロビジョナルレストレーションを応用し, 上顎前歯部にインプラント審美修復を行った一症例, 第 46 回日本口腔インプラント学会学術大会. 名古屋, 2016, 9
- 6) 本木萌洋, 浅見健介, 北風新平, 川邊好弘, 溝部健一, 荒木久生, 新来患者(80 歳以上)の欠損状態に関する統計的観察, 第 26 回日本口腔内科学会・第 29 回日本口腔診断学会 合同学術大会, 2016, 9
- 7) 鏡 智雄, 荒木久生, 前歯部補綴に歯槽堤増大術を応用した一症例, 第 34 回日本顎咬合学会学術大会, 東京, 2016, 6
- 8) 島田成章, 松本篤樹, 鈴木玲爾, 低位咬合患者に対して咬合挙上と咬合再構成を行った一症例, 第 34 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2016, 6
- 9) 本木萌洋, 荒木久生, 補綴前処置として限局矯正を行った一症例, 第 34 回日本顎咬合学会学術大会, 東京, 2016, 6
- 10) 松本篤樹, 鈴木玲爾, 臨床における難易度別の総義歯印象方法についての考察, 第 34 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2016, 6

E. その他の研究会、講演など

- 1) その他, 松田 哲, "健康ライフは口福から" 歯周病指導医が語る歯の話, "練馬区保健所 2016, 12

摂食嚥下リハビリテーション学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) "Morita Y, Ishikawa K, Nakano M, Wakabayashi H, Yamauchi K, Abe F, Ooka T and Shouji Hironaka", "Effects of lactoferrin and lactoperoxidase-containing food on the oral hygiene status of older individuals: A randomized, double blinded, placebo-controlled clinical trial", "Geriatrics & Gerontology International, 2016", 2016, 3

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 井上 勝元, 重松 久夫, 野露 紘子, 高野 梨沙, 橋本潤子, 岩瀬 直樹, 吉岡典子, 坂下 英明, 藤澤 政紀, 安井 利一, 大川 周治, "多科連携のもとに舌がん切除後の摂食嚥下リハビリテーションを行った1例", 平成27年度埼玉県歯科医学会学術大会, 浦和, 2016, 2

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 報告書, 大岡貴史, 基盤研究(C), 自閉症モデルラットにおける離乳期の味覚経験と摂食行動との関連, 科学研究費補助金, 基盤研究(C), 2016, 3

基礎物理学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 吉川 秀明, 田草川 徹, 山田 英彦, 嶋田 淳, 下顎枝矢状分割後におけるロッキングプレート固定の接合部骨組織の治癒に関する研究—ビーグル犬下顎骨による実験的研究—, 明海歯学誌, 45(1), 26-38, 2016, 2016, 2
- 2) 山田 英彦, 稲葉 明美, 田巻義規, 2016 年度科学実験演習, リュウワ印刷, 埼玉, pp1-57, 2016, 9

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 山田英彦, 石井廣明, 磯貝知範, 携帯型歯科用 X 線撮影装置の口外撮影法への適応 II —障害陰影の影響—, 日本法歯科医学会第 10 回記念学術大会, 東京, 2016, 11

病態診断治療学講座

病 理 学 分 野

薬 理 学 分 野

総合臨床歯科学分野

歯科放射線学分野

口腔顎顔面外科学分野(Ⅰ)

口腔顎顔面外科学分野(Ⅱ)

高齢者歯科学分野

歯科麻酔学分野

歯科法医学分野

病理学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) "Wright JM, Kusama K", Adenomatoid odontogenic tumour, "WHO Classification of Head and Neck Tumours, IARC, Lyon, pp221-222", 2017, 1
- 2) "van Heerden WFP, Kusama K, Neville BW", Odontogenic fibroma, "WHO Classification of Head and Neck Tumours, IARC, Lyon, p228", 2017, 1
- 3) "青木暁宣, 阿部仁子, 伊藤耕, 井上勝元, 植田耕一郎, 大木秀郎, 大山嘉人, 岡田 宗久, 奥 結香, 加藤仁夫, 金子忠良, 川本幸寛, 菊池建太郎, 草間 薫, 工藤逸郎, 小池一喜, 小宮正道, 近藤壽郎, 坂下英明, 酒卷裕之, 佐藤貴子, 佐藤 光保, 重松 久夫, 澁谷 鑛, 澁谷 智明, 鈴木 正二, 鈴木 円, 高橋康輔, 瀧澤 将太, 田中 孝佳, 外木 守雄, 中山 洸利, 福田 正勝, 馬越誠之, 三宅正彦, 米原 啓, 和気 裕之.", "口腔外科学 第5版; 監修, 工藤逸郎, 編集, 大木秀郎, 近藤壽郎, 坂下英明, 外木守雄, 三宅正彦.", "学建書院, 東京, pp8-28", 2016, 4
- 4) "浅野正岳, 東 雅啓, 井上 孝, 宇都宮忠彦, 岡田康男, 落合隆永, 東理頼亮, 菊池建太郎, 草間 薫, 久山佳代, 小宮山一雄, 末光正昌, 田中昭男, 槻木恵一, 徳永ハルミ, 長谷川博雅, 前田初彦, 松坂賢一, 松本直行, 美島健二", "病理学総論にもとづく口腔病理学 井上 考, 田中昭男, 長谷川博雅編集主幹, 岡田泰男, 草間 薫, 久山 佳代, 小宮山一雄, 槻木恵一, 前田初彦, 美島健二編", "永末書店, 京都", 2016, 3

B. 学術論文

1. 原著

- 1) "Wendoline M, Nino RG, Kikuchi K, Miyazaki Y, Inoue H, Jose SVR, Silvia GLB, Arzate H and Kusama K", "Clinicopathological study of epulis, including immunohistochemistry of CEMP1 expression in cases showing hard tissue formation.", "J Meikai Dent Med, 45(1), 7-14", 2016, 2
- 2) "Kikuchi K, Noguchi Y, de Rivera MW, Hoshino M, Sakashita H, Yamada T, Inoue H, Miyazaki Y, Nozaki T, Gonzalez-Lopez BS, Ide F and Kusama K.", "Detection of Epstein-Barr virus genome and latent infection gene expression in normal epithelia, epithelial dysplasia, and squamous cell carcinoma of the oral cavity.", "Tumour Biol, 37(3), 3389-3404", 2016, 3

2. 総説

- 1) "Kusama K, Inoue H, Miyazaki Y, Kikuchi K, Sakashita H, Ochiai

K", Microorganisms and cancer of the oral cavity, "Integr Cancer Sci Ther 3 (4), 510-515", 2016, 7

3. 症例報告

- 1) "Fukuda M, Kikuchi K, Kusama K, Sakashita H", Epithelial-myoepithelial carcinoma arising in the oral floor: Report of a case and review of the literature, "J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 28 (4), 344-349", 2016, 7
- 2) 田村暢章、菊池建太郎、龍田恒康、大石洋平、岩間聡一、阿部智之、田中健大、中川 美香、鈴木 隼人、大山洋子、浦 啓修、川口祥子、園川拓哉、青木竜平、小林真彦、田草川徹、森 一将、草間 薫、嶋田 淳、竹島 浩、高齢者の下顎骨に発生した Ossifying fibroma の 1 例, "明海歯科医学 45 (2), 150-153", 2016, 9
- 3) 岡田 宗久、重松久夫、坂下 英、菊池建太郎、草間 薫、坂下英明、舌癌の経過観察中に男性乳癌と下顎歯肉癌が発生した重複癌の 1 例, "日口外誌 63 (1), 25-29", 2017, 1

C. その他の刊行物など

- 1) "Ide F, Kikuchi K, Kusama K, Muramatsu T", Adenomatoid odontogenic tumour: An outdated report., "Am J Orthod Dentofacial Orthop 150 (6), 906-907", 2016, 12
- 2) "Ide F, Kikuchi K, Kusama K, Muramatsu T", An old report of idiopathic gingival papillokeratosis with crypt formation, "Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 123(4):515, 2017, 1
- 3) "Ide F, Kikuchi K, Miyazaki Y, Kusama K, Muramatsu T", An overview of previous studies reporting multiple gigantic odontomas of both jaws, "Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol 121 (4), 441-443", 2016, 4
- 4) "Ide F, Kikuchi K, Miyazaki Y, Kusama K", Archegonous cystic odontoma is not necessarily primordial, "Head Neck Pathol 10 (3), 418-421", 2016, 9
- 5) "Ide F, Kikuchi K, Kusama K", Osteofibrous Dysplasia Versus Ossifying Fibroma: Semantic Confusion, "J Oral Maxillofac Surg 75(5):885, 2017, 1
- 6) "Ide F, Kikuchi K, Sakashita H, Muramatsu T, Kusama K", Unusual findings in common peripheral ossifying fibromas: transepithelial elimination and epithelial inclusion., "Histopathology [Epub ahead of print], 2016, 11

D. 学会発表

2. 全国学会

(1) 特別講演(教育講演)

- 1) 国内学会特別講演、国内シンポジスト等, 菊池建太郎, 口腔に生じるリンパ増殖性疾患(特別講演) , “第 11 回脳腫瘍の基礎シンポジウム, 東京、御茶ノ水”, 2016, 5

(3) 一般演題

- 1) “菊池建太郎, 井上ハルミ, 山内雅司, 草間薫”, High-grade transformation を伴った多型低悪性度腺癌と考えられた 1 例, “第 105 回日本病理学会総会, 仙台”, 2016, 5
- 2) 菊池建太郎、星野 都、徳永ハルミ、坂下 英明、草間 薫, 角化嚢胞性歯原性腫瘍由来型の原発性骨内扁平上皮癌と考えられた 1 例, 106 回日本病理学会総会, 2017, 4

薬理学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 坂上 宏, 第 8 章ポリフェノール類の抗腫瘍作用—in vitro 評価法を用いた網羅的検証, ポリフェノール: 機能性成分研究開発の最新動向 (監修: 波多野 力、下田 博司)、シーエムシー出版, 2016, 6
- 2) Garcia-Contreras R, Scougall-Vilchis RJ, Contreras-Bulnes R, Masahiro Sugimoto M, Nakajima H and Sakagami H, Chapter 3. Effect of titanium dioxide nanoparticle on proliferation, drug-sensitivity, inflammation and metabolomic profiling of human oral cells., Volume XI: NanoBioMaterials in Dentistry. Applications of Nanobiomaterials Volume 11. Edited by Grumezescu AM, Elsevier pp49-77, 2016 July (Total 497 pages) ISBN: 978-0-323-42867-5, 2016, 7

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Orabi MA, Taniguchi S, Sakagami H, Yoshimura M, Amakura Y and Hatano T, Hydrolyzable tannins of tamaricaceous plants. 7.1. Structures and cytotoxic properties of oligomeric ellagitannins from leaves of *Tamarix nilotica* and cultured Tissues of *Tamarix tetrandra*, J Nat Prod. 79(4):984-995, 2016, 4
- 2) Sakagami H, Sheng H, Ono K, Komine Y, Miyadai T, Terada Y, Nakada D, Tanaka S, Matsumoto M, Yasui T, Watanabe K, Junye J, Natori T, Suguro-Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T, Anti-halitosis effect of toothpaste supplemented with alkaline extract of the leaves of *Sasa senanensis* Rehder, In Vivo 30(2): 107-111, 2016, 3-4
- 3) Kato T, Segami N and Sakagami H, Anti-inflammatory activity of hangeshashinto in IL-1 β -stimulated gingival and periodontal ligament fibroblasts, In Vivo 30(3):257-264, 2016, 5-6
- 4) Panda AK, Das U, Roayapalley PK, Sakagami H, Kawase M, Balzarini J, De Clercq E, Dimmock JR. Niacin esters of chalcones with tumor-selective properties. J Enzyme Inhib Med Chem. 2016 Dec;31(6):1451-1456, 2016.2 doi: 10.3109/14756366.2016.1144595.
- 5) Sakagami H, Fukuchi K, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Natori T, Suguro-Kitajima M, Oizumi H, Yasui T and Oizumi T, Synergism of alkaline extract of the leaves of *Sasa senanensis* rehder and antiviral agents, In Vivo.

- 30(4): 421-426, 2016, 7
- 6) Unluer E, Gul HI, Demirtas A, Sakagami H, Umemura N, Tanc M, Kazaz C and Supuran CT, Synthesis and bioactivity studies of 1-aryl-3-(2-hydroxyethylthio)-1-propanones. J Enzyme Inhib Med Chem. 2016;31(sup3):105-109. Epub 2016 Jul 19.
 - 7) Kucukoglu K, Oral F, Aydin T, Yamali C, Algul O, Sakagami H, Gulcin I, Supuran CT and Gul HI, Synthesis, cytotoxicity and carbonic anhydrase inhibitory activities of new pyrazolines, J Enzyme Inhib Med Chem. 31(sup4):20-24, 2016. 8.
 - 8) Umemura N, Ohkoshi E, Tajima M, Kikuchi H, Katayama T and Sakagami H, Hyaluronan induces odontoblastic differentiation of dental pulp stem cells via CD44., Stem Cell Res Ther. 2016;7: 135. doi: 10.1186/s13287-016-0399-8. PMID: 27651223, 2016, 9
 - 9) Tomikoshi Y, Nomura M, Okudaira N, Sakagami H and Wakabayashi H, Enhancement of cytotoxicity of three apoptosis-inducing agents against human oral squamous cell carcinoma cell line by benzoxazinotropone, In Vivo 30(5): 645-650, 2016, 9
 - 10) Yamali C, Gul HI, Sakagami H and Supuran CT., Synthesis and bioactivities of halogen bearing phenolic chalcones and their corresponding bis Mannich bases, J Enzyme Inhib Med Chem. 31(sup4)125-131, 2016. 9.
 - 11) Gul IH, Yamali C, Yasa TA, Unluer E, Sakagami H, Tanc M and Supuran CT, Carbonic anhydrase inhibition and cytotoxicity studies of Mannich base derivatives of thymol, J Enzyme Inhib Med Chem, 31(6):1375-1380, 2016, 10
 - 12) Uesawa Y, Sakagami H, Kagaya H, Yamashita M, Takao K and Sugita Y: Quantitative structure-cytotoxicity relationship of 3-benzylidenechromanones., Anticancer Res 36 (11) 5803-5812, 2016, 11
 - 13) Suzuki R, Matsushima Y, Okudaira N, Sakagami H and Shirataki Y, Cytotoxic components against human oral squamous cell carcinoma isolated from *Andrographis paniculata*, Anticancer Res 36 (11) 5931-5935, 2016, 11
 - 14) Fukuchi K, Okudaira N, Adachi K, Odai-Ide R, Watanabe S, Ohno H, Yamamoto M, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Uesawa Y, Kagaya H and Sakagami H, Antiviral and antitumor activity of licorice root extracts, In Vivo 30(6):777-785, 2016, 11
 - 15) Gul HI, Mete E, Eren SE, Sakagami H, Yamali C and Supuran CT, Designing, synthesis and bioactivities of 4-[3-(4-hydroxyphenyl)-5-aryl-4,5-dihydro-pyrazol-1-yl]benzene

- sulfonamides, *J Enzyme Inhib Med Chem*. 32(1): 169-175, 2017. 1.
- 16) Gul HI, Yamali C, Yesilyurt F, Sakagami H, Kucukoglu K, Gulcin I, Gul M and Supuran CT, Microwave-assisted synthesis and bioevaluation of new sulfonamides, *J Enzyme Inhib Med Chem* 32(1):369-374, 2017, 1
 - 17) Masuda Y, Yokose S and Sakagami H, Gene expression analysis of cultured rat-endothelial cells after Nd:YAG laser irradiation by Affymetrix GeneChip Array, *In Vivo* 31(1):51-54, 2017, 1
 - 18) Shimozu Y, Kimura Y, Esumi A, Aoyama H, Kuroda T, Sakagami H, Hatano T, Ellagitannins of *Davidia involucrata*. I. Structure of Davicratinic Acid A and Effects of *Davidia* Tannins on Drug-Resistant Bacteria and Human Oral Squamous Cell Carcinomas, *Molecules*. 2017 Mar 15;22(3). pii: E470. doi: 10.3390/molecules22030470. PMID: 28294988, 2017, 3
 - 19) Sakagami H, Okudaira N, Masuda Y, Amano O, Yokose S, Kanda Y, Suguro M, Natori T, Oizumi H and Oizumi T, Induction of Apoptosis in human oral keratinocyte by doxorubicin., *Anticancer Res* 37(3):1023-1029, 2017, 3
 - 20) Sakagami H, Masuda Y, Tomomura M, Yokose S, Uesawa Y, Ikezoe N, Asahara D, Takao K, Kanamoto T, Terakubo S, Kagaya H, Nakashima H and Sugita Y, Quantitative structure-cytotoxicity relationship of chalcones, *Anticancer Res* 37, 1091-1098, 2017, 3
 - 21) Yamali C, Gul HI, Ozgun DO, Sakagami H, Umemura N, Kazaz C and Gul M, Synthesis and cytotoxic activities of difluoro-dimethoxy chalcones, *Anticancer Agents Med Chem*. 17: 2017 Mar 27. doi: 10.2174/1871520617666170327123909. [Epub ahead of print] PMID: 28356013, 2017, 3
 - 22) 大石隆介、坂上 宏、国際的コミュニケーション能力の重要性(2)―外向き志向への切り替え―, *New Food Industry* 58(8): 72-79, 2016, 8
 - 23) 坂上 宏、生宏、大石隆介、国際的コミュニケーション能力の重要性―語学力は強力な武器になる―, *New Food Industry* 58 (7): 81-94, 2016, 7

2. 総説

- 1) Sakagami H, Sheng H, Okudaira N, Yasui T, Wakabayashi H, Jia J, Natori T, Suguro-Kitajima M, Oizumi H, Oizumi T, Prominent anti-UV activity and possible cosmetic potential of Lignin-carbohydrate complex. Review, *In Vivo*, 30, 331-339, 2016, 4
- 2) 奥平准之, History of the transposon and use to a food, *New Food Industry*. 58(5), 29-32, 2016, 5

C. その他の刊行物など

- 1) 福地邦彦、坂上 宏、安井利一、金本大成、寺久保繁美、中島秀喜、勝呂まどか、名取威徳、大泉浩史、大泉高明, ササヘルスの卓越した抗ウイルス活性, *New Food Industry* 58(12): 23-32, 2016, 12
- 2) 坂上宏、勝呂まどか、名取威徳、大泉浩史、大泉高明, クマザサ葉アルカリ抽出液 (ササヘルス R) の卓越した紫外線防護効果, *New Food Industry* 59(1): 55-62, 2017
- 3) 植沢芳広、福地邦彦、大野裕和、山本正次、加賀谷肇、坂上宏, 甘草フラボノイドの抗ヘルペスウイルス活性は、構造的・物理化学的特徴に依存する, *New Food Industry* 59(2): 47-52, 2017, 2
- 4) 増田宜子、横瀬敏志、坂上宏, 美味しく食べるための歯の根管治療 - 根管形態-, *New Food Industry* 59(2): 73-77, 2017, 2
- 5) 宮田了(英語版への翻訳: 坂上宏), 中国料理に魅せられて一南国酒家の創業に至るまでの道程 *Charmed by Chinese Cooking. The road up to the Establishment of Nangokusyuka Chinese restaurant*, *New Food Industry* 59(3): 71-74, 2017, 3

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Kazunori Adachi, Masayuki Kobayashi and Hiroshi Sakagami, The responses of the agranular insular pyramidal neuron to oral stimulation, *The 89th Annual Meeting of Japanese Pharmacological Society*, 2016, 3
- 2) Reina Odai, Kazunori Adachi, Shunsuke Hino, Tetsuo Shimoyama, Hiroshi Sakagami, Gilles J. Lavigne and Barry J. Sessle, Effects of glycine injection into trigeminal motor nucleus on jaw-opening excitability during sleep in rats, *Neuroscience 2016*, 2016, 11
- 3) Naoya Hasegawa, Au Sasaki, Takako Tsuchiya, Naoto Suda, Hiroshi Sakagami and Kazunori Adachi, Effects of TRPV1 receptor antagonism on orthodontic force induced pain, *Neuroscience 2016*, 2016, 11
- 4) Kazunori Adachi, Masayuki Kobayashi and Hiroshi Sakagami, Involvement of GABAergic transmission in the sensory processing in the agranular insular cortex, *Neuroscience 2016*, 2016, 11

2. 全国学会

(1) 特別講演(教育講演)

- 1) 安達一典、須田直人、坂上宏, Evaluation of temporal alteration of orthodontic pain, 第 58 回歯科基礎医学会サテライトシンポジウム, 2016, 8

- 2) 下津 祐樹, 大島睦美, 坂上宏, 波多野力, 生薬アセンヤクの基原植物 *Uncaria gambir* 中のアルカロイド-カテキン ハイブリッド化合物の研究, 第 21 回天然薬物の開発と応用シンポジウム、千葉大学薬学部 120 周年記念講堂, 2016, 10
- 3) 奥平 准之, 体細胞における LINE-1 レトロトランスポジションの転移機構, 日薬レトロポゾン研究会 東京(招待講演), 2017, 3

(3) 一般演題

- 1) 長谷川尚哉、佐々木会、土屋隆子、坂上宏、安達一典、須田直人, 矯正歯科治療に伴う疼痛に対する新規疼痛制御物質の探索, 第 58 回歯科基礎医学会総会、札幌, 2016, 8
- 2) Sakagami H, Okudaira N, Amano O, Yokose S., Search for substances that alleviate the toxicity of doxorubicin against human oral keratinocyte, 第 58 回歯科基礎医学会学術大会 札幌, 2016, 8
- 3) 尾臺一井出令奈、安達一典、渡部茂、坂上 宏, ラットの睡眠時間開口反射活性の術後変化, 第 58 回歯科基礎医学会総会、札幌, 2016, 8
- 4) 安達 一典、須田 直人、坂上 宏, 歯の移動に伴う疼痛の経時的評価, 第 58 回歯科基礎医学会総会、札幌, 2016, 8
- 5) 田島雅道、坂上宏, リン酸水素イオンは bisphosphonate の骨芽細胞内取り込みを増加させる, 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌, 2016, 8
- 6) 友村美根子、坂東 健二郎, 鈴木龍一郎, 白瀧義明, 坂上宏, 友村明人, 骨芽細胞と破骨細胞におけるゲラニルゲラニオールの効果, 第 89 回日本生化学会大会(仙台), 2016, 9
- 7) 深見 聡、鈴木 龍一郎、友村美根子、友村 明人、坂上宏、白瀧 義明, 骨芽細胞を分化促進させる生薬の探索, 第 63 回日本生薬学会(富山), 2016, 9
- 8) 長谷川尚哉、佐々木会、土屋 隆子、坂上宏、安達 一典、須田直人, 矯正治療に伴う疼痛に対する動物モデルを用いた評価系の開発—第 3 報—: 新規疼痛制御物質の探索, 第 75 回日本矯正歯科学会大会, 2016, 11
- 9) 奥平准之、坂上宏, Involvement of long interspersed element 1 Retrotransposition induced by imipramine, 第 90 回日本薬理学会年会、長崎, 2017, 3
- 10) 田島 雅道、坂上 宏, Bisphosphonates はリン酸トランスポーターを介して骨芽細胞に取り込まれる, 第 90 回日本薬理学会年会, 長崎, 2017, 3

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 植沢芳広、坂上宏、山下毬藻、高尾浩一、杉田 義昭, 3-Benzylidenechromanones

- の定量的構造 - 細胞傷害性相関解析, 第 134 回日本薬理学会関東部会、国際医療福祉大学薬学部、大田原市、栃木, 2016, 7
- 2) 坂上 宏、福地 邦彦、金本 大成、寺久保 繁美、中島 秀喜、名取 威徳、勝呂・北嶋 まどか、大泉 浩史、安井 利一、大泉 高明, クマザサ葉アルカリ抽出液と抗ウイルス剤との相乗作用, 第 134 回日本薬理学会関東部会、国際医療福祉大学薬学部、大田原市、栃木, 2016, 7
 - 3) 井出令奈、安達一典、渡部茂、坂上宏, 安静睡眠時ラットにおけるグリシン受容体機構の検討, 第 134 回日本薬理学会関東部会、国際医療福祉大学薬学部、大田原市、栃木, 2016, 7
 - 4) 長谷川尚哉、佐々木会、土屋隆子、坂上宏、安達一典、須田直人, 矯正歯科治療に伴う疼痛に対する新規疼痛制御物質の探索, 第 134 回日本薬理学会関東部会、国際医療福祉大学薬学部、大田原市、栃木, 2016, 7
 - 5) 坂上 宏、増田 宣子、奥平 准之、勝呂 まどか、名取威徳、大泉浩史、大泉高明, ササヘルスの細胞保護効果(1): 抗癌剤の副作用に対して, 第 135 回日本薬理学会関東部会、浜松医科大学、静岡, 2016, 10
 - 6) 加藤沙友里、下津祐樹、波多野 力、坂上 宏, Hamamelis × intermedia の成分研究(第 2 報), 第 55 回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会, 2016, 11
 - 7) 植沢芳広、福地邦彦、坂上宏、加賀谷肇、大野裕和、山本正次, 甘草含有成分の抗ヘルペスウイルス活性に対する定量的構造活性相関解析, 第 135 回日本薬理学会関東部会、国際医療福祉大学薬学部、大田原市、栃木, 2016, 10
 - 8) 前野ひとみ、西岡弘美、黒田照夫、森田大地、波多野 力、坂上 宏、竹内靖雄, 抗腫瘍活性・抗 MRSA 活性を志向したケルセチン配糖体の合成, 第 55 回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会, 2016, 11
 - 9) 尾臺一井出令奈、安達一典、坂上宏、渡部茂, ラットにおける安静睡眠時のグリシン受容体機構に関する検討, 第 10 回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 2016, 11
 - 10) 長谷川尚哉、佐々木会、土屋隆子、坂上 宏、安達 一典、須田 直人, 矯正治療に伴う疼痛に対する作用機序の異なる疼痛制御物質の評価, 第 10 回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 2016, 11
 - 11) 土屋 隆子、長谷川 尚哉、坂上 宏、安達 一典、須田直人, 矯正治療に伴う疼痛に対する炭酸ガスレーザーの効果, 第 10 回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 2016, 11

E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂上宏、最終講義、口腔疾患治療薬の開発をめざしてー将来展望と次世代への

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 坂上宏(代表)、新規 3-スチリルクロモン誘導体の口腔癌治療薬としての可能性に関する基礎研究、基盤研究(C)、課題番号:16K11519、期間:2016年4月～2019年3月
- 2) 安達一典(代表)、*In vivo* マルチパッチクランプ法による島皮質統合機構の解明、基盤研究(C)、課題番号:26462824、期間:2014年4月～2017年3月
- 3) 田島雅道(代表)、ビスホスホネート関連顎骨壊死(BRONJ)の病態解明と治療法を探る、挑戦的萌芽研究、課題番号:16K15323、期間:2016年4月～2019年3月
- 4) 奥平准之(代表)、乱用薬物の Long Interspersed Element 1 転移機構の解析、若手研究 B、課題番号:15K19278、期間:2015年4月～2018年3月

3. 宮田研究奨励金(A)

- 1) 安達一典(代表)、睡眠時末梢刺激応答性に関与する因子の同定と受容体機構の検討、宮田研究奨励金(A)

総合臨床歯科学分野

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 村上幸生:すぐひける、現場で役立つ歯科衛生士のための最新歯科用語辞典.
栢 豪陽, 升井 一郎, 石川隆義, 玄 景華, 小菅直樹, 雫石 聰, 濱本一美,
本間和代, 鱒見進一編著. クインテッセンス出版, p62-68, 2016年.

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Sakagami H, Sheng H, Ono K, Komine Y, Miyadai T, Terada Y, Nakada D, Tanaka S, Matsumoto M, Yasui T, Watanabe K, Junye J, Natori T, Suguro-Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T: Anti-halitosis effect of toothpaste supplemented with alkaline extract of the leaves of *Sasa senanensis* Rehder. *In vivo*, 30: 107-112, 2016.
- 2) Hino S, Nishiyama A, Matsuda T, Horie N, Shimoyama T, Tanaka S and Sakagami H: Quest for cells responsible for age-related increase of salivary glycine and proline. *In vivo*, 30: 91-98, 2016.
- 3) 川田朗史, 村上幸生, 片山 直: マウスマクロファージにおける magnolol と honokiol による *Porphyromonas gingivalis* リポ多糖体刺激 TNF- α 発現の抑制作用. *明海歯学*, 45 巻: 111-121, 2016 年.
- 4) 松村正晃, 川田朗史, 村上幸生, 田所瑞希, 小井戸美公, 丸山直美, 大井優一, 渡辺裕美, 岡田知之, 片山 直: 明海大学歯学部附属明海大学病院口腔診断科における過去 2 年間の初診患者動向調査. *日口診誌*, 30 巻: 7-12, 2017 年.
- 5) 片山 直, 宇津木千鶴, 高松紗耶子, 田村靖子, 村上幸生, 町野 守: 石心会さやま総合クリニック歯科口腔外科における病理組織学的検査の検討(第 1 報). *日口診誌* 30 巻: 1-6, 2017 年.

2. 総説

- 1) Fujisawa S and Murakami Y: Eugenol and its role in chronic disease. *Adv Exp Med Biol*. 929: 45-66, 2016.

3. 症例報告

- 1) 村上幸生, 香村亜希子, 岡田知之, 川田朗史, 松村正晃, 丸山直美, 大井 優一, 田村 靖子, 町野 守, 片山 直: セファランチンの投与によって改善した口腔扁平苔癬の 1 例. *日口診誌*, 30 巻: 28-31, 2017 年.

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 村上幸生:植物性抗酸化フェノール関連化合物の歯周病原細菌菌体成分刺激による転写因子活性化制御機構を探る. 第27回明海歯科医学会, 坂戸, 2016年6月.
- 2) 岡田知之, 川田朗史, 丸山直美, 田所瑞希, 松村正晃, 香村亜希子, 小井戸美公, 渡辺裕美, 村上幸生, 片山直:明海大学病院口腔診断科総合診療部で実施したパッチテストの臨床的検討. 第29回日本口腔診断学会, 岡山, 2016年9月.
- 3) 山口美和, 黒澤みどり, 川田朗史:当院における口腔リハビリテーションへの取り組み. 第55回全国自治体病院学会, 富山, 2016年10月.

E. その他の研究会、講演など

- 1) 村上幸生:歯科医師臨床研修制度, 研修目標, 研修方略, 研修評価. 第8回埼玉県歯科医師会・明海大学歯学部共催 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会, さいたま, 2016年10月.
- 2) 松村正晃, 松村正平:むし歯・歯周病にならない生活を目指して. 狭山市立御狩場中学校 第3回学校保健員会. 狭山, 2016年11月.
- 3) 松村正晃, 松村正平:むし歯について. 狭山市立山王小学校 やまびこ学級. 狭山, 2016年12月.
- 4) 村上幸生, 川田朗史, 松村正晃, 丸山直美:明海大学歯学部における共用試験歯学系 OSCE-カリキュラム変革期にあたって-. (財) ライフプランニングセンター 2017年1月 SP 定例会プログラム, 東京, 2017年1月.

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 片山直:ヒト歯髄幹細胞の造骨性分化を誘導するPI 3-Kinase/Akt シグナルの解析. 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金), 基盤研究(C), 2016年.
- 2) 村上幸生:抗酸化性フェノール関連化合物による酸化還元感受性転写因子の活性化制御機構を探る. 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金), 基盤研究(C), 2016年.

歯科放射線学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 金田 隆, 櫻井 孝, 土持 眞, 奥村 泰彦, 後藤 多津子, 羽山 和秀, 原田 卓哉, 本田 和也, 森本 泰宏, 若尾 博美, I 基礎知識 第6章 放射線の測定と線量測定器具. III画僧診断 第1章 画像診断総論. In 新歯科放射線学 第2版. 金田 隆編, 医学情報社, 東京, pp45-49, pp176-218, 2017, 3
- 2) 長畑 智政, 菊池 透, 大野 和子, 奥村泰彦, 川瀬 滋人, 坂本 肇, 鈴木 昇一, 原田 康雄, 山口 一郎, 第8章 歯科診療のX線管理. In 医療領域の放射線管理マニュアル. 医療放射線防護連絡協議会編, 医療放射線防護連絡協議会, 東京, pp134-142, 2016, 9

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Izawa M, Harata Y, Shiba N, Koizumi, Ozawa T, Takahashi N and Okumura Y, Establishment of local diagnostic reference levels for quality control in intraoral radiography, Oral Radiology 33, pp38-44, DOI 10.1007/s11282-016-0245-9, 2016, 5
- 2) 丸山 亮, 井澤 真希, 齋藤 圭輔, 小澤 智宣, 高橋 伸年, 奥村 泰彦, X線フィルムによる口内法ローカル診断参考レベルの設定, 明海歯学誌 45(2), pp157-167, 2016, 9
- 3) 木村 直人, 小澤 智宣, 井澤 真希, 高橋 伸年, 奥村 泰彦, フォトンカウンティング型パノラマエックス線撮影装置を利用した歯科用金属のスペクトル解析, 明海歯学誌 45(2), pp103-110, 2016, 9
- 4) 大高 祐聖, 坂 英樹, 井澤 真希, 鈴木 達也, 齋藤 嘉大, 奥村 泰彦, 携帯型X線撮影装置の防護について, Forensic Dental Science(日本法歯科医学会誌) 第8巻第1号, pp11-13, 2016, 10

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Kishida N, Harata Y, Izawa M, Saito K, Ozawa T and Okumura Y, Dosimetry of 3-Dimensional Cephalometry Using KaVo 3D eXam+ Cone-Beam Computed Tomography and nanoDot Dosimeters, The 11th Asian Congress of OMFR, Chiang mai, 2016, 11
- 2) Ozawa T, Oketa K, Saito Y, Takahashi N and Okumura Y, Evaluation of

buccolingual bone around titanium using photon counting panoramic radiology, 92nd European Orthodontics Society, Stockholm, 2016, 6

- 3) Shiba N, Harata Y, Izawa M, Saitou K, Takahashi N and Okumura Y, Visual assessment and dose of digital panoramic X-ray image, The 11th Asian Congress of OMR, Chiang mai, 2016, 11

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 浅見 瑠璃, 齊藤 嘉大, 井澤 真希, 大高 祐聖, 奥村 泰彦, 坂 英樹, マイクロ X 線 CT を用いた上顎小臼歯髓室角における加齢的变化の三次元的観察, NPO 法人第 57 回日本歯科放射線学会学術大会, 大阪, 2016, 6
- 2) 浅見 瑠璃, 網干 博文, 岩脇 淳志, 大高 祐聖, 田中 晃伸, 坂 英樹, マイクロ X 線 CT を用いた上顎小臼歯の髓室部における加齢的变化, 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 2016, 8
- 3) 大高 祐聖, 原田 康雄, 井澤 真希, 浅見 瑠璃, 坂 英樹, 奥村 泰彦, 携帯型 X 線発生装置におけるファントムの大きさと空間線量(散乱線量)について, NPO 法人第 57 回日本歯科放射線学会学術大会, 大阪, 2016, 6
- 4) 岩脇 淳志, 大高 祐聖, 浅見 瑠璃, 田中 晃伸, 坂 英樹, 携帯型 X 線発生装置撮影時の防護に関する研究, 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 2016, 8
- 5) 大高 祐聖, 岩脇 淳志, 浅見 瑠璃, 井澤 真希, 奥村 泰彦, 坂 英樹, 携帯型エックス線発生装置の散乱線量と被写体の大きさとの関係, 日本法歯科医学会第 10 回学術大会, 2016, 11
- 6) 岩脇 淳志, 大高 祐聖, 浅見 瑠璃, 北村 晃, 田中 晃伸, 福本 雅文, 奥村 泰彦, 坂 英樹, 携帯型エックス線発生装置使用時における手指被曝線量, 第 100 次日本法医学会学術全国集会, 2016, 6
- 7) 岩脇 淳志, 大高 祐聖, 浅見 瑠璃, 奥村 泰彦, 坂 英樹, 携帯型歯科用 X 線発生装置の被曝線量について, 第 15 回警察歯科医会全国大会, 2016, 9
- 8) 境野 利江, 原田 康雄, 小林 育夫, 奥村 泰彦, 口内法 X 線撮影の患者入射線量と面積線量を大規模調査するための研究, NPO 法人第 57 回日本歯科放射線学会学術大会, 大阪, 2016, 6
- 9) 原田 康雄, 小林 育夫, 境野 利江, 奥村 泰彦, 診断用 X 線による眼の水晶体被曝に対する適切な個人線量当量の測定, NPO 法人第 57 回日本歯科放射線学会学術大会, 大阪, 2016, 6

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 齊藤 嘉大, 高橋 伸年, 鈴木 達也, 井澤 真希, 小澤 智宣, 奥村 泰彦, MDCT を

- 使用したボリュームレンダリング法における仮想顔貌 3D モデル構築, NPO 法人 日本歯科放射線学会第 222 回関東地方会, 神奈川, 2016, 1
- 2) 桶田 賢次, 井澤 真希, 小澤 智宣, 高橋 伸年, 奥村 泰彦, デジタル撮影に使用される IP の物理的評価に関する研究, NPO 法人 日本歯科放射線学会第 224 回関東地方会, 神奈川, 2017, 1
 - 3) 芝 規良, 原田 康雄, 井澤 真希, 齋藤 圭輔, 小澤 智宣, 高橋 伸年, 奥村 泰彦, デジタルパノラマ X 線画像の視覚的評価と線量, NPO 法人 日本歯科放射線学会第 223 回関東地方会・第 36 回北日本地方会・第 24 回合同地方会, 北海道, 2016, 7
 - 4) 鈴木 達也, 小澤 智宣, 齊藤 嘉大, 桶田 賢次, 岸田 尚樹, 高橋 伸年, 奥村 泰彦, 下顎切歯管の走行と発育について, NPO 法人 日本歯科放射線学会第 223 回関東地方会・第 36 回北日本地方会・第 24 回合同地方会, 北海道, 2016, 7
 - 5) 齋藤 圭輔, 井澤 真希, 小澤 智宣, 高橋 伸年, 桶田 賢次, 岸田 尚樹, 齊藤 嘉大, 芝 規良, 鈴木 達也, 奥村 泰彦, 上顎歯肉に発生したメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の 1 例, NPO 法人 日本歯科放射線学会 第 21 回臨床画像大会, 東京, 2016, 10
 - 6) 原田 康雄, 境野 利江, 桶田 賢次, 井澤 真希, 芝 規良, 奥村 泰彦, デジタル口内法 X 線撮影における照射線量指標について, NPO 法人 日本歯科放射線学会第 21 回臨床画像大会, 東京, 2016, 10
 - 7) 岩脇 淳志, 大高 祐聖, 浅見 瑠璃, 奥村 泰彦, 坂 英樹, 携帯型歯科用 X 線発生装置の側方被曝線量に関する研究, 日本法医学会第 85 回学術関東地方集会, 2016, 10

E. その他の研究会, 講演など

- 1) 大高 祐聖, 携帯型歯科用 X 線撮影による被曝と防護, 埼玉県歯科医師会平成 28 年度身元確認研修会, 2017, 4
- 2) 奥村 泰彦, 三島 章, 野津 雅和, 林 孝文, 月岡 庸之, 小林 育夫, 佐藤 健児, 原田 康雄, 歯科領域の医療放射線の利用と防護, 第 37 回「医療放射線の安全利用」フォーラム, 東京, 2016, 2
- 3) 奥村 泰彦, 原田 康雄, 第 37 回「医療放射線の安全利用」フォーラム 座長まとめ, 医療放射線防護 75, pp55-56, 2016, 7
- 4) 金田 隆, 奥村 泰彦, 佐藤 健児, 西川 慶一, 原田 康雄, 境野 利江, 井澤 真希, 高橋 伸年, 小澤 智宣, 芝 規良, 桶田 賢次, 鈴木 達也, 岸田 尚樹, 齋藤 圭輔, 第三回顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会, NPO 法人日本歯科放射線学会, 埼玉, 2016, 1
- 5) 浅海 淳一, 奥村 泰彦, 佐藤 健児, 西川 慶一, 原田 康雄, 井澤 真希, 高橋 伸年,

小澤 智宣, 芝 規良, 桶田 賢次, 鈴木 達也, 岸田 尚樹, 齋藤 圭輔, 第四回顎口腔
領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会, NPO 法人日本歯科放射線学会,
埼玉, 2017, 1

口腔顎顔面外科学(I)

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Abukawa H, Ogawa T, Kono M, Koizumi T, Kawase-Koga Y, Chikazu D, Intravenous dexamethasone administration before orthognathic surgery reduces the postoperative edema of the masseter muscle: a randomized controlled trial, *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*, 2017 Jun, 175(6):1257-1262
- 2) Fujita S, Mizoguchi N, Aoki R, Cui Y, Koshikawa N and Kobayashi M, Cytoarchitecture-dependent decrease in propagation velocity of cortical spreading depression in the rat insular cortex revealed by optical imaging. , *Cereb Cortex* 2016 Apr;26(4):1580-9, 2016, 4
- 3) Kono M, Satomi T, Abukawa H, Hasegawa O, Watanabe M, Chikazu D "Evaluation of OK-432 injection therapy as possible primary treatment of intraoral ranula, *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*, 2016, Feb;75(2):336-342
- 4) 豊田 博行, 園川 拓哉, 青木 竜平, 浦 啓修, 大山 洋子, 川口 祥子, Kitano Flores Victor Jose, 嶋田 淳: Le Fort I型骨切り術における翼突上顎縫合分離時の衝撃力の計. *明海歯科医学* 46, 47-54, 2017
- 5) 園川 拓哉, 青木 竜平, 豊田 博行, 浦 啓修, 大山 洋子, 川口 祥子, Kitano Flores Victor Jose, 嶋田 淳: Le Fort I型骨切り術のダウンフラクチャーが頭蓋底に及ぼす力学的影響. *明海歯科医学* 46, 55-63, 2017
- 6) Murata T, Abukawa H, Satomi T, Chikazu D, Nerve sharing between the lingual and mental nerve to restore lower lip sensation after segmental resection of the mandible, " *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*, 74:2016. 1-5, 2016, 9
- 7) Aoki R, Kato R, Fujita S, Shimada J, Koshikawa N, Kobayashi M., Phase-dependent activity of neurons in the rostral part of the thalamic reticular nucleus with saccharin intake in a cue-guided lever-manipulation task. , *Brain Research* 1658, 42-50, 2017
- 8) 田中敏史, 青木竜平, 佐野哲文, 園川拓哉, 豊田博行, 浦 啓修, 大山洋子, 川口祥子, Victor Jose KITANO FLORES, 嶋田 淳, インプラント窩形成時の骨表面の温度変化の計測. *明海歯科医学* 45 72-80, 2016
- 9) 吉川秀明、田草川 徹, 山田 英彦, 嶋田 淳", 下顎枝矢状分割術後におけるロッキングプレート固定の接合部骨組織の治癒に関する研究 ビーグル犬下顎骨に

よる実験的研, 明海歯科医学 45 26-38 2016, 2016, 2

- 10) 藤原 敬子, 森 一将, 浦 啓修, 川口 祥子, KITANO Flores Victor Jose, 嶋田 淳 :
唾液腺腫瘍 63 例の臨床的検討. 明海歯科医学 46 79-85, 2017
- 11) 浦 啓修, 森 一将, 小林真彦, 田村暢章, 田草川徹, 龍田恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳 :
当科における外科矯正手術の臨床統計学的検討. 明海歯科医学 46 64-70, 2017
- 12) 関根真一, 青木竜平, 佐野哲史, 園川拓哉, 豊田博之, 浦啓修, 大山洋子, 川口祥子,
Victor Jose KITANO FLORES, 嶋田淳: 頬骨骨折発生時の衝撃力と動ひずみ計測.
明海歯科医学 45, 62-71, 2016

3. 症例報告

- 1) 森 一将, 藤原敬子, 嶋田 淳 : Methotrexate に起因したと考えられた難治性
舌潰瘍の 1 例. 明海歯科医学 46, 86-90. 2017
- 2) 田村 暢章, 菊池 建太郎, 龍田 恒康, 大石 洋平, 岩間 聡一, 阿部 智之,
田中 健大, 中川 美香, 鈴木 隼人, 大山 洋子, 浦 啓修, 川口 祥子, 園川 拓哉,
青木 竜平, 小林 真彦, 田草川 徹, 森 一将, 草間 薫, 嶋田 淳, 竹島 浩",
高齢者の下顎骨に発生した Ossifying fibroma の 1 例. 明海歯科医学 45, 150-153,
2016

D. 学会発表

(3) 一般演題

- 1) Yoshimichi URA, Kazumasa MORI, Keiko FUJIWARA, KITANO F.V. JOSE, Shoko
KAWAGUCHI, Yoko YAMA, Ryuhei Aoki, Takuya Sonokawa, Masahiko KOBAYASHI,
Nobuyuki TAMURA, Toru TAKUSAGAWA, Tuneyasu TATSUTA, Hiroshi TAKESHIMA and
Jun SHIMADA: Clinical study of the orthodontic surgery operation in our
cases, The First Greater China Implant Symposium & International Academy
of Contemporary Dentistry (iACD) , 2016, 11
- 2) Masahiko Kobayashi, Aous Abdulmajeed, Jongyun Moon, Risto Punkkinen, Jun
Shimada, Pekka Vallittu, Lippo Lassila", "The effect of ultraviolet
treatment on surface characteristics, bacterial adhesion, and cellular
response of TiO₂ nanotubes, 45th Annual Meeting & Exhibition of the
AADR. Los Angeles, Calif., USA, 2016, 3

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 田草川徹, BRONJ とインプラントについて, 平成 27 年度 第 10 回一般社団法人
東京形成歯科研究会 主催公益社団法人日本口腔インプラント学会 認定講習会 :

東京, 2016, 1

- 2) 虻川東嗣, 小川 隆, 近津大地”, 再生医療の臨床応用のためのプレクリニカルモデルーヒトとミニブタモデルの比較, 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会(ワークショップ), 2016, 11

(3) 一般演題

- 1) 木村亮太、田草川 徹, 園川 拓哉, 田村 暢章, 龍田 恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳: インプラント埋入が原因と考えられた非浸潤性副鼻腔真菌症の 1 例. 第 20 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 2016, 11
- 2) 古賀陽子, 藤居泰行, 池畑美紀子, 虻川東嗣, 長濱浩平, 近津大地: 下顎枝矢状分割術後の早期プレート抜去術の有用性 顎関節の検討, 第 26 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 2016, 6
- 3) 井上 薫, 虻川東嗣, 丹保彩子, 小川隆, 近津大地”, 顎関節に発生した偽痛風の 1 例, “第 202 回日本口腔外科学会関東支部学術集会”, 2016, 12
- 4) 虻川東嗣, 小川隆, 岡本彩子, 近津大地”, 顎関節機能評価やパノラマ X 線検査は進行性下顎頭吸収のスクリーニングに役立つか?, “第 29 回日本顎関節学会総会・学術大会”, 2016, 7
- 5) 藤原敬子, 森 一将, 田村 希, 嶋田 淳: 口腔内に生じた多発性白色病変の臨床的検討. 第 61 回 公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会, 2016, 11
- 6) 森 一将、藤原敬子、嶋田 淳: 口腔内多発性潰瘍患者の舌背部より分離された *Leclercia adecarboxylata* の 1 例. 第 25 回日本有病者歯科医学会総会学術大会, 2016, 4
- 7) 河野 通秀, 里見貴史, 長谷川 温, 渡辺 正人, 池畑直樹, 榎本 愛, 虻川 東嗣, 近津大地”, 口腔扁平上皮癌におけるマクロファージ発現様式の臨床病理学的検討, 第 40 回日本頭頸部癌学会, 2016, 6
- 8) 田村 暢章、嶋田 淳、川口 祥子、小林真彦、田草川 徹、龍田恒康、竹島 浩, 高齢者に発生した口蓋多形腺腫由来癌の 1 例. 一般社団法人日本老年歯科医学会 第 27 回総会・学術大会, 2016, 6
- 9) 八木原一博、石井純一、桂野美貴、上田絵梨、岡村武志、松木繁男、原口美穂子、石川 文隆、柳下 寿郎、斎藤 喬、濱畑 淳盛、別府 武、坂本 裕彦、森 一将: 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死 (ARONJ) が疑われた下顎骨中心性癌の 1 例. 第 54 回埼玉県医学会総会, 2017, 2
- 10) 森 一将、藤原 敬子、川口祥子、酒井 文徳、嶋田 淳: 三次元光造形モデルを用い術前に プレート屈曲を行った下顎骨再建症例の 1 例. 第 70 回 NPO 法人 日本口腔科学会学術集会, 2016, 4
- 11) 藤原敬子、森 一将、川口祥子、菊池建太郎、草間 薫、嶋田 淳: 耳下腺に発

- 生した basal cell adenoma の一例. 第 70 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 2016, 4
- 12) 森 一将、藤原敬子、酒井文徳、並木一郎、嶋田 淳: 精神疾患既往のある口腔不定愁訴症例が改善傾向を示した症例の臨床的検討. 第 61 回 公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会, 2016, 11
- 13) 森 一将、藤原敬子、嶋田 淳: 精神疾患既往のある口腔不定愁訴症例が改善傾向を示した症例の臨床的検討. 平成 28 年度埼玉県歯科医学大会, 2017, 2
- 14) 酒井文徳、森 一将、藤原 敬子、菊池 建太郎、草間 薫、嶋田 淳: 舌下部にみられた口腔リンパ上皮性嚢胞の 1 例. 第 61 回 公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会, 2016, 11
- 15) 吉川秀明、池田 幹人, 高山 智宏, 村上 馨, 田草川 徹, 龍田 恒康, 嶋田 淳, 横江 秀隆: 線維性骨異形性症による顎変形症患者に上顎歯槽骨後方骨切り術を施行した 1 症例. 第 26 回 日本顎変形症学会総会・学術大会, 2016, 5
- 16) 岩橋由佳子, 田村暢章, 竹島 浩, 龍田恒康, 嶋田 淳: 当科における入院管理下でのインプラント及びインプラント関連手術症例の臨床的検討. 第 35 回日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術大会, 2016, 2
- 17) 森 一将 藤原敬子 嶋田 淳: 抜歯術を施行したミトコンドリア病患者の 1 例. 第 26 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 2017, 3
- 18) 藤原敬子, 森 一将, 竹島 浩, 嶋田 淳: 抜歯術後感染に苦慮した放射線性上顎骨髄炎の 1 例. 第 26 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 2017, 3
- 19) 藤原敬子 森 一将 川口祥子、嶋田 淳: 広範囲菌性感染症の 1 例. 平成 28 年度埼玉県歯科医学大会, 2017, 2

E. その他の研究会、講演など

- 1) その他, "渡辺正人, 虻川東嗣, 鈴木隆史, 岩瀬直人, 近津大地", 顎矯正手術を施行した von Willebrand 病 Type I 症例の止血管理, 第 452 回東京医科大学臨床懇話会, 2016, 4

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 小林真彦, 研究活動スタート支援, 酸化チタンナノ粒子の炎症増悪作用の検証. , 科学研究費補助金, 2017, 3

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 森 一将: 口腔癌における腫瘍関連 MΦ の分化誘導機構及び機能解析. 2016 年度宮田研究奨励金 (A)

口腔顎顔面外科学(Ⅱ)

1. 著書

- 1) 坂下 英明, 井上 勝元, 重松 久夫, 福田 正勝, 奥 結香, 瀧澤 将太, 川本幸寛, 鈴木正二, 顎骨骨折における歯牙結紮法と線副子の基礎と応用の文献的考察-歴史的背景を加えて-その(1)歯牙結紮法について, "日本小児口腔外科学会雑誌 25, 126-140", 2016, 3
- 2) 坂下 英明, 井上 勝元, 重松 久夫, 福田正勝, 奥 結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 鈴木正二, 顎骨骨折における歯牙結紮法と線副子の基礎と応用の文献的考察-歴史的背景を加えて-その(2)線副子法の基礎と応用について, "日本小児口腔外科学会雑誌 25, 126-140", 2016, 3
- 3) "工藤 逸郎, 大木 秀郎, 近藤 壽郎, 坂下 英明, 外木 守雄, 三宅正彦", 口腔外科学第5版, "学建書院出版, 東京", 2016, 4
- 4) "馬越誠之, 岡田宗久, 坂下英明", "第11章 神経疾患と心因性病態 A 口腔・顎・顔面に関係する神経の解剖と機能 B 神経痛 C 神経麻痺 D 神経痙攣. In: 口腔外科学第5版, 工藤逸郎監修", "学建書院出版, 東京, pp243-256", 2016, 4
- 5) "馬越誠之, 岡田宗久, 坂下英明", 第11章 神経疾患と心因性病態 A 口腔・顎・顔面に関係する神経の解剖と機能. In: 口腔外科学第5版, "学建書院出版, 東京, pp243-245", 2016, 4
- 6) "馬越誠之, 岡田宗久, 坂下英明", 第11章 神経疾患と心因性病態 B 神経痛. In: 口腔外科学第5版, "学建書院出版, 東京, pp245-250", 2016, 4
- 7) "馬越 誠之, 岡田 宗久, 坂下 英明", 第11章 神経疾患と心因性病態 C 神経麻痺. In: 口腔外科学第5版, "学建書院出版, 東京, pp250-254", 2016, 4
- 8) "馬越誠之, 岡田宗久, 坂下英明", 第11章 神経疾患と心因性病態 D 神経痙攣. In: 口腔外科学第5版, "学建書院出版, 東京, pp254-256", 2016, 4
- 9) "鈴木 円, 大山嘉人, 坂下英明", "第13章 全身疾患と症候群. In: 口腔外科学第5版, 工藤逸郎監修", "学建書院出版, 東京, pp275-298", 2016, 4
- 10) "川本幸寛, 坂下英明", "第15章 口腔外科手術法 B 口腔外科手術の術式 3 顎の整形手術. In: 口腔外科学第5版, 工藤逸郎監修", "学建書院出版, 東京, pp383-390", 2016, 4
- 11) "井上勝元, 坂下英明", 第15章 口腔外科手術法 B 口腔外科手術の術式 4 口唇裂・口蓋裂の手術. In: 口腔外科学第5版, "学建書院出版, 東京, pp390-400", 2016, 4
- 12) "井上勝元, 坂下英明", "第15章 口腔外科手術法 B 口腔外科手術の術式 4 口唇裂・口蓋裂の手術. In: 口腔外科学第5版, 工藤逸郎監修", "学建書院出版, 東京, pp390-400", 2016, 4

- 13) “米原啓之，外木守雄，坂下英明”，“第 15 章 口腔外科手術法 B 口腔外科手術の術式 7 口腔・顔面の再建術. In：口腔外科学第 5 版，工藤 逸郎監修”，“学建書院出版，東京，pp405-412”，2016，4
- 14) “瀧澤将太，坂下英明”，“第 15 章 口腔外科手術法 B 口腔外科手術の術式 8 唾液腺の手術 9 耳下腺の手術. In：口腔外科学第 5 版，工藤 逸郎監修”，“学建書院出版，東京，pp412-416”，2016，4
- 15) “瀧澤将太，坂下英明”，第 15 章 口腔外科手術法 B 口腔外科手術の術式 8 唾液腺の手術. In：口腔外科学第 5 版，“学建書院出版，東京，pp412-414”，2016，4
- 16) “瀧澤将太，坂下英明”，第 15 章 口腔外科手術法 B 口腔外科手術の術式 9 耳下腺の手術. In：口腔外科学第 5 版，“学建書院出版，東京，pp414-416”，2016，4
- 17) 坂下英明，“第 1 章 歯科医学総論 A 序論. In：口腔外科学第 5 版，工藤逸郎監修”，“学建書院出版，東京，pp7-8”，2016，4
- 18) “菊池建太郎，坂下英明，草間 薫”，“第 1 章 歯科医学総論 B 病因と病態. In：口腔外科学第 5 版，工藤逸郎監修”，“学建書院出版，東京，pp8-28”，2016，4
- 19) “鈴木正二，奥 結香，坂下英明”，“第 2 章 口腔外科的診断法. In：口腔外科学第 5 版，工藤逸郎監修”，“学建書院出版，東京，pp29-65”，2016，4
- 20) “坂下英明，福田正勝”，“第 3 章 先天異常と発育異常(奇形、変形) C 顎および関節の先天異常・発育異常と変形. In：口腔外科学第 5 版，工藤逸郎監修”，“学建書院出版，東京，pp77-99”，2016，4
- 21) “重松久夫，草間 薫，坂下英明”，“第 9 章 唾液腺疾患. In：口腔外科学第 5 版，工藤逸郎監修”，“学建書院出版，東京，pp213-230”，2016，4

B. 学術論文

1. 原著

- 1) “Masakatsu Fukuda, Kentaro Kikuchi, Kaoru Kusama, Hideaki Sakashita”, Epithelial-myoepithelial carcinoma arising in the oral floor: Report of a case and review of the literature, “Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology Vol. 28 (3)”, 2016, 4
- 2) “坂下英明，井上勝元，重松久夫，福田正勝，奥 結香，瀧澤将太，川本幸寛，鈴木 正二”，顎骨骨折における歯牙結紮法と線副子の基礎と応用の文献的考察-歴史的背景を加えて-その(1)歯牙結紮法について，“日本歯科医史学会誌 31(3)，169-181”，2016，3
- 3) “坂下英明，井上勝元，重松久夫，福田正勝，奥 結香，瀧澤将太，川本幸寛，鈴木 正二”，顎骨骨折における歯牙結紮法と線副子の基礎と応用の文献的考察-歴史的背景を加えて-その(2)線副子法の基礎と応用について，“Ped Oral Maxillo Surg 25, 126-141”，2016，3

- 4) “坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 鈴木 正二”, 顎骨骨折における歯牙結紮法と線副子の基礎と応用の文献的考察-歴史的背景を加えて-その(2)線副子法の基礎と応用について,”日本歯科医史学会誌 31(3), 182-193”, 2016, 3
- 5) “坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 鈴木 正二”, 顎骨骨折における歯牙結紮法と線副子の基礎と応用の文献的考察-歴史的背景を加えて-その(3)線副子法の基礎と応用について,”日本歯科医史学会誌 31(4), 290-294”, 2016, 9
- 6) “坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 鈴木正二”, 文献からみた明治 5 年から昭和 47 年の間の我が国口腔外科の歴史 (I),”日本歯科医史学会誌 32(1), 47-59”, 2017, 3
- 7) “坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 鈴木正二”, 文献からみた明治 5 年から昭和 47 年の間の我が国口腔外科の歴史 (II),”日本歯科医史学会誌 32(1), 60-69”, 2017, 3

2. 総説

- 1) “Kaoru Kusama, Harumi Inoue, Yuji Miyazaki, Kentaro Kikuchi, Hideaki Sakashita and Kuniyasu Ochiai”, Microorganisms and cancer of the oral cavity, “Integrative Cancer Science and Therapeutics, 3(4), 510-515”, 2016, 7

3. 症例報告

- 1) “星野 都, 鈴木 円, 塚本 亮一, 坂下 英明”, 自然排泄した舌内金属異物の 1 例, “Hospital Dentistry&Oral-Maxillofacial Surgery, 28, 37-40”, 2016, 6
- 2) “岡田 宗久, 重松久夫, 坂下 英, 菊池健太郎, 草間薫, 坂下英明”, 舌癌の経過観察中に男性乳癌と下顎歯肉癌が発生した重複癌の 1 例, “日本口腔外科学会雑誌, 63(1), 25-29”, 2017, 1
- 3) “奥 結香, 鈴木正二, 勅使河原睦, 菊池建太郎, 草間 薫, 坂下英明”, 舌後方正中部に発生した異所性粘液嚢胞の 1 例, 日本口腔外科学会雑誌、62(7) 358-362, 2016, 7
- 4) “須賀則幸, 馬越誠之, 坂下 英, 瀧澤将太, 井上勝元, 坂下英明”, 頬粘膜憩室様病変の 1 例, “日本口腔外科学会雑誌, 63(2), 79-82”, 2017, 2

D. 学会発表

1. 国際学会

(3)一般演題

- 1) Masakatsu FUKUDA and Hideaki SAKASHITA, Role of SET and MYND

domain-containing protein 3 (SMYD3) in human oral cancer, 第 75 回日本癌学会総会・学術大会, 2016, 10

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) “井上勝元, 塩野隼也, 瀧澤将太, 重松久夫, 鈴木正二, 坂下英明”, 下顎埋伏智歯抜歯に対する歯科用顕微鏡の有用性, “第 13 回 日本顕微鏡歯科学会・札幌大会, 北海道”, 2016, 4
- 2) “名倉 功, 宮田 勝, 高木純一郎, 車谷 宏, 坂下英明”, 顎下腺唾液腺導管癌の 1 例, “第 64 回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉”, 2016, 11
- 3) “米永一理, 星 和人, 内山貴夫, 谷口明紗子, 末永英之, 阿部雅修, 西條英人, 坂下 英明, 高戸 毅”, 強直性脊椎炎患者の顎関節強直症に対し体位作成を工夫した人工骨頭置換術法, “第 62 回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉”, 2016, 11
- 4) “小峰雄介, 重松久夫, 瀧澤将太, 菊池健太郎, 草間 薫, 坂下英明”, 口蓋部非吸収性の骨吸収病変の 1 例, “第 201 回日本口腔外科学会関東支部学術集会, 群馬”, 2016, 5
- 5) “奥結香, 重松久夫, 鈴木晴奈, 平良芙蓉子, 小峰雄介, 林宏泰, 塩野隼也, 菊池健太郎, 草間 薫, 坂下 英明”, 左側下顎骨を占拠した正角化性歯原性嚢胞の 1 例, “第 63 回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉”, 2016, 11
- 6) “宮田 勝, 高木純一郎, 名倉 功, 坂下英明”, 周術期口腔機能管理を契機に口腔への転移を発見した 2 症例, “第 25 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 東京”, 2016, 3
- 7) “馬越誠之, 須賀則幸, 坂下 英, 坂下英明”, 乳癌既往患者の下唇に発生した腺癌に悪性リンパ腫を認めた 1 例, “第 61 回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉”, 2016, 11
- 8) “宮田 勝, 高木純一郎, 名倉 功, 松原完也, 坂下英明”, 比較的大きな集合性歯牙腫の 1 例, “第 28 回一般社団法人日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 広島”, 2016, 10

高齢者歯科学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 浦 啓修、森 一将、藤原敬子、田草川 徹、小谷田貴之、KITANO F. V. JOSE、川口 祥子、大山 洋子、青木 竜平、園川 拓哉、小林 真彦、田村 暢章、龍田 恒康、竹島 浩、嶋田 淳, 当科における顎矯正手術の臨床統計学的検討, 明海歯科医学 46(1), 64-70, 2017 (2017, 2)

3. 症例報告

- 1) 田村暢章、菊池建太郎、龍田恒康、大石洋平、岩間聡一、阿部智之、田中健大、中川美香、鈴木隼人、大山洋子、浦 啓修、川口 祥子、園川拓哉、青木竜平、小林真彦、田草川徹、森 一将、草間 薫、嶋田 淳、竹島 浩, 高齢者の下顎骨に発生した Ossifying fibroma の 1 例, 明海歯科医学 45(2), 150-153, 2016 (2016, 9)

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Yoshimichi URA, Kazumasa MORI, Keiko FUJIWARA, KITANO F.V. JOSE, Shoko KAWAGUCHI, Yoko YAMA, Ryuhei Aoki, Takuya Sonokawa, Masahiko KOBAYASHI, Nobuaki TAMURA, Toru TAKUSAGAWA, Tsuneyasu TATSUTA, Hiroshi TAKESHIMA and Jun SHIMADA: Clinical study of the orthodontic surgery operation in our cases, The First Greater China Implant Symposium & International Academy of Contemporary Dentistry (iACD) , 2016, 11

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 田村暢章、嶋田 淳、川口祥子、小林真彦、田草川徹、龍田恒康、竹島 浩, 高齢者に発生した口蓋多形腺腫由来癌の 1 例, 一般社団法人日本老年歯科医学会 第 27 回総会・学術大会 (徳島県) , 2016, 6
- 2) 小林真彦、田村暢章、菊池建太郎、龍田恒康、草間 薫、嶋田 淳、竹島 浩, 上顎に発生した石灰化嚢胞性歯原性腫瘍の 1 例, 第 61 回公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会 (千葉県) , 2016, 11
- 3) 木村 亮太、田草川 徹、園川 拓哉、田村 暢章、龍田 恒康、竹島 浩、嶋田 淳, インプラント埋入が原因と考えられた非浸潤性副鼻腔真菌症の 1 例, 第 20 回公益社団法人 日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 (東京都), 2016, 12

E. その他の研究会、講演など

1) 田村 暢章、下田 定弘

Implant Basic ～補綴までの総合基礎～

Nobel Biocare 主催講演（アットビジネスセンター池袋駅前）：2016.12.4

歯科麻酔学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) “吉田和市, 飯島毅彦, 今村佳樹, 大井良之, 大野由夏, 岡俊一, 岡田明子, 河原 博, 小長谷 光, 谷口 省吾, 森本 佳成, 大上 沙央理, 牧野 兼三”, “2 歯科治療時の患者管理 B 歯科治療時に注意を要する全身疾患と歯科治療時の対応 (呼吸器疾患, 消化器疾患, 泌尿器・生殖器疾患, 神経・運動器疾患). In : 「歯科麻酔・生体管理学第2版」, 吉田和市, 学建書院, 東京, pp17 - 46, 69-94, ”, 2016, 3

B. 学術論文

1. 原著

- 1) “今村 敏克, 久保 英範, 松本 勝洋, 高島 恵子, 内田 茂則, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光”, 新たに開発した定量的熱刺激装置, 明海歯科医学 46 巻 1 号 Page40-46, 2017, 2
- 2) “大野 由夏, 久保 英範, 松本 勝洋, 高島 恵子, 今村 敏克, 内田 茂則, 高木 沙央理, 小長谷 光”, 非侵害性温度条件刺激による conditioned pain modulation 効果, 明海歯科医学 46 巻 1 号 Page34-39, 2017, 2

3. 症例報告

- 1) “鈴木 佐知子, 黒田 翔太, 上杉 典子, 今村 敏克, 高木 沙央理, 大野 由夏, 牧野 兼三, 長坂 浩, 小長谷 光”, Williams 症候群の全身麻酔下歯科治療における周術期管理の 1 症例, “日本歯科麻酔学会雑誌 44 巻 2 号 Page201-203”, 2016, 4

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) “K. Matsumoto, J. Poulsen¹, Y. Oono², H. Kohase, P. Gazerani¹, L. Arendt-Nielsen”, P2X3 Positive Nerve Fibers outside the Gustatory Papillae in Rat, “The 16th World Congress on Pain Yokohama, Japan”, 2016, 9
- 2) “Yuka Oono, Toshikatsu Imamura, Hidenori Kubo, Katsuhiko Matsumoto, Shigenori Uchida, Saori Takagi, Kenzo Makino, Hiroshi Nagasaka, Parisa Gazerani, Kelun Wang, Lars Arendt-Nielsen, Hikaru Kohase”, The relationship between paradoxical sensation and conditioned pain modulation by cold-warm

pulse conditioning stimulation in healthy volunteers,"The 16th World Congress on Pain Yokohama, Japan",2016,9

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 齋藤智彦, 岩瀬良範, 今村敏克, 内田茂則、高木沙央理, 大野由夏, 小長谷光, 牧野兼三, paperChart ワークショップ・ハンズオンセミナー, 第 44 回日本歯科麻酔学会, 札幌, 2016, 10
- 2) "齋藤智彦, 今村敏克, 内田茂則, 高木沙央理, 大野由夏, 小長谷光, 牧野兼三", paperChart ワークショップ・ハンズオンセミナー, 第 26 回 日本有病者歯科医療学会総会・学術大会、金沢, 2017, 3
- 3) 小長谷 光, こんなときどうする! ハイリスク患者の歯科治療, 東京都口腔保健センター教育講演会 東京, 2016, 4
- 4) 小長谷 光, 最近の歯科麻酔事情 ~痛くない麻酔の注射、リラックス麻酔、全身麻酔~, 平成 28 年度彩の国大学コンソーシアム公開講座 埼玉, 2016, 9
- 5) 小長谷 光, 明海大学歯学部歯科麻酔学分野の現状と今後, 明海大学歯学部埼玉同窓会講演会 埼玉, 2016, 6

(3) 一般演題

- 1) "星島 宏, 竹内 梨紗, 西澤 秀哉, 伊藤 直樹, 長坂 浩, 内田 茂則, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光, 大野 聖加, 小林 克江, 牧野 兼三, 栗原 淳", C-MAC ビデオ喉頭鏡とマッキントシュ型喉頭鏡の挿管確率に対する比較 メタアナリシス, 第 44 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 札幌, 2016, 10
- 2) "今村 敏克, 小長谷 光", paperChart と医薬品バーコードを利用した手術室薬剤管理, 第 34 回 日本麻酔集中治療テクノロジー学会, 2016, 11
- 3) 鈴木史人、高野裕史、小長谷光、大野由夏、高木沙央理、泉幸江、武田千夏、福田雅幸, オリーブ橋小脳萎縮症患者への下顎神経ブロックと麻酔管理, 第 26 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会、金沢, 2017, 3
- 4) "高島 恵子, 松本 勝洋, 久保 英範, 上杉 典子, 鈴木 佐知子, 黒田 翔太, 早川 華穂, 小林 克江, 牧野 兼三, 内田 茂則, 高木 沙央理, 大野 由夏, 長谷川 彰彦, 長坂 浩, 小長谷 光", チューブエクステンジャーを口腔外に引き寄せて挿入する経鼻挿管, 第 44 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 札幌, 2016, 10
- 5) 大野 由夏、今村 敏克、内田 茂則、高木 沙央理、長坂 浩、小長谷 光, 健康成人における冷温パルス刺激可能な定量的熱刺激装置を用いた Conditioned Pain Modulation 評価, 第 63 回日本麻酔科学会総会, 2016, 5

- 6) “久保 英範, 高島 恵子, 野露 紘子, 松本 勝洋, 内田 茂則, 小林 克江, 牧野 兼三, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光”, 口腔内診査および術前検査のために薬物的行動調整が必要であった 1 症例, 第 33 回日本障害者歯科学会総会および学術大会、さいたま, 2016, 10
- 7) “鈴木 史人, 大野 由夏, 藤沢 有美, 小長谷 光”, 国立病院機構あきた病院における麻酔情報管理システム paperChart 導入と運用, 第 44 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 札幌, 2016, 10
- 8) “高木沙央理, 大野由夏, 長坂浩, 小長谷光”, 精神性発汗量測定のスプレイト予測モニターとしての有用性, 日本臨床麻酔学会第 36 回大会、高知, 2016, 11
- 9) “高木沙央理, 原田達也, 今村敏克, 小林克江, 牧野兼三, 星島宏, 久保英範, 内田茂則, 大野由夏, 長坂浩, 小長谷光”, 静脈麻酔下歯科治療における SP02 低下イベントへの影響因子の検討, 第 44 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 札幌, 2016, 10
- 10) “高橋 正人, 牧野 兼三, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光”, 脳性麻痺患者の全身麻酔覚醒後に血圧および経皮的動脈血酸素飽和度の著明な低下を認めた一症例, 第 44 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 札幌, 2016, 10
- 11) 高島 恵子, 松本 勝洋, 上杉 典子, 今村 敏克, 久保 英範, 内田 茂則, 小林 克江, 牧野兼三, 高木沙央理, 大野由夏, 小長谷光, 肺 MAC (Mycobacterium avium complex) 症患者に対して全身麻酔管理を行った 2 症例の手術室における感染対策, 第 33 回関東臨床歯科麻酔懇話会、東京, 2016, 6
- 12) “大野 由夏, 久保 英範, 松本 勝洋, 黒田 翔太, 早川 華穂, 内田 茂則, 高木 沙央理, 牧野 兼三, 長坂 浩, 小長谷 光”, 非侵害温刺激と非侵害冷温同時刺激は conditioned pain modulation を誘発した, 日本ペインクリニック学会第 50 回大会横浜, 2016, 7
- 13) “佐々木陽子, 高木沙央理, 大野由夏, 牧野兼三, 小長谷光”, 有病者歯科外来における paperChart の活用, 第 26 回 日本有病者歯科医療学会総会・学術大会、金沢, 2017, 3
- 14) “久保 英範, 松本 勝洋, 大野 由夏, 小長谷 光”, 冷温交互刺激で生じる錯感覚と Conditioned Pain Modulation (CPM) の関連, 第 21 回口腔顔面痛学会横浜, 2016, 9
- 15) “久保 英範, 今村 敏克, 松本 勝洋, 高島 恵子, 小宅 宏史, 牧野 兼三, 小林 克江, 西澤 秀哉, 星島 宏, 内田 茂則, 高木 沙央理, 大野 由夏, 長坂 浩, 長谷川 彰彦, 小長谷 光”, 冷温交互刺激で生じる錯感覚と条件刺激性疼痛調節との関連, 第 44 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 札幌, 2016, 10

E. その他の研究会、講演など

- 1) “今村敏克, 大上沙央理, 大野由夏, 内田茂則, 小長谷 光, 牧野兼三, 小林克江,

岸田 全人, 長坂 浩 ”, 明海大学歯学部 B L S 講習会救急医学会認定コース,
明海大学付属明海大学病院, 2016, 2

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 大上沙央理, 若手研究 (B), 科学研究費補助金、若手研究 (B), 2016, 5
- 2) 大野由夏, “若手研究 (B), QST・CPM を用いたあたらしい慢性疼痛患者の病態評価法の開発”, 科学研究費補助金, 若手研究 (B), 2016, 5

歯科法医学

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 大高 祐聖、坂 英樹、井澤 真希、鈴木 達也、齊藤 嘉大、奥村 泰彦, 携帯型 X 線撮影装置の防護について, "Forensic Dental Science 8(1), 11~13", 2016, 10

2. 総説

- 1) 坂 英樹, 歯科大学基礎分野における労働衛生, 日本労働衛生研究協議会雑誌, 22(2), 96-99, 2016, 2

C. その他の刊行物など

- 1) 坂 英樹, "平成 28 年 7 月 ギルバート諸島戦没者遺骨収集応急派遣
- 2) 厚生労働省社会・援護局事業課, 2016, 9
- 3) Hideki Saka, "Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains at Peleliu Island, Republic of Palau in September 2016", "Historic Preservation Office, Republic of Palau", 2016, 9
- 4) 坂 英樹, "2016 年度パラオ諸島戦没者遺骨収集協議・調査派遣報告書", 厚生労働省社会・援護局事業課, 2016, 9
- 5) Hideki Saka, "Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains at Peleliu and Angaur Island, Republic of Palau in December 2016", "Historic Preservation Office, Republic of Palau", 2016, 12
- 6) 坂 英樹, "平成 28 年度パラオ諸島戦没者遺骨収集派遣報告書", 厚生労働省社会・援護局事業課, 2016, 12
- 7) Hideki Saka, "Forensic anthropological short report of the collection of human skeletal remains at Tol Island and in the Yamagirimaru The State of Chuuk FSM March 2017 ", "Customs in the airport, Federation of Micronesia", 2017, 3

D. 学会発表

2. 全国学会

(1) 特別講演(教育講演)

- 1) 坂 英樹, 災害時における歯科的個人識別, "口腔衛生関東地方研究会, 浦安", 2016, 2
- 2) 坂 英樹, 小児の基礎的口腔解剖学, 顎咬合学会第 34 回学術集会, 東京, 2016, 6

(3) 一般演題

- 1) 大高祐聖, 原田康雄, 井澤真希, 浅見瑠璃, 坂 英樹, 奥村泰彦, 携帯型エックス線発生装置におけるファントムの大きさと空間線量(散乱線量)について, 日本歯科放射線学会第 57 回学術大会, 大阪, 2016, 6
- 2) 浅見瑠璃, 齊藤嘉大, 井澤真希, 大高祐聖, 奥村泰彦, 坂 英樹, マイクロ X 線 CT を用いた上顎小白歯髓室角における加齢的变化の三次元的観察, 日本歯科放射線学会第 57 回学術大会, 大阪, 2016, 6
- 3) 岩脇 淳志, 大高 祐聖, 浅見 瑠璃, 北村 晃, 田中晃伸, 福本雅文, 奥村泰彦, 坂 英樹, 携帯型エックス線発生装置使用時における手指被曝線量, 第 100 次日本法医学会学術全国集会, 東京, 2016, 6
- 4) 浅見 瑠璃, 網干博文, 岩脇淳志, 大高祐聖, 田中晃伸, 坂 英樹, マイクロ X 線 CT を用いた上顎小白歯の髓室部における加齢的变化, 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌, 2016, 8
- 5) 岩脇淳志, 大高祐聖, 浅見瑠璃, 田中晃伸, 坂 英樹, 携帯型 X 線発生装置撮影時の防護について, 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌, 2016, 8
- 6) 岩脇淳志, 大高祐聖, 浅見瑠璃, 奥村泰彦, 坂 英樹, 携帯型歯科用 X 線発生装置の被曝線量について, 第 15 回警察歯科医会全国大会, 岐阜, 2016, 9
- 7) 岩脇淳志, 大高祐聖, 浅見瑠璃, 奥村泰彦, 坂 英樹, 携帯型歯科用 X 線発生装置の側方被曝線量に関する研究, 第 85 回日本法医学会学術関東地方集会, 横須賀, 2016, 10

E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂 英樹, インプラント治療に必要な解剖学., "口腔インプラント生涯研修センター 第 30 回口腔インプラントセミナー, 名古屋", 2016, 1
- 2) 坂 英樹, "戦没者遺骨発掘作業における歯科法医学的見地からの人種鑑別", 江戸川区歯科医師会 警察歯科講習会, 東京, 2016, 5
- 3) 坂 英樹, 歯科保健., 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科特別講義, 朝霞, 2016, 6
- 4) 坂 英樹, インプラント治療に必要な解剖学., "口腔インプラント生涯研修センター 第 31 回口腔インプラントセミナー, 名古屋", 2016, 7
- 5) 坂 英樹, 大規模災害における歯科的個人識別の実際と今後の課題, 埼玉県警察協力医会 定期総会講習会, さいたま, 2016, 7
- 6) 坂 英樹, 大規模災害における歯科的個人識別の実際と今後の課題, 江東区歯科医師会 警察歯科医会講演会, 東京, 2016, 11
- 7) 坂 英樹, 大規模災害における歯科的個人識別の実際と今後の課題, 鹿行歯科医師会 学術講演, 潮来, 2016, 12

- 8) 坂 英樹, 大規模災害時における歯科的個人識別, 埼玉県歯科医師会 平成 28 年度
身元確認研修会, さいたま, 2017, 3

社会健康科学講座

口腔衛生学分野

スポーツ歯学分野

医療情報科学分野

障がい者歯学分野

基礎数学・統計学分野

口腔衛生学

A. 著書・訳本

2. 訳本

- 1) "竹下 玲(安井利一監訳)", Step6; 実際の患者におけるう蝕リスク評価 In バランス: 患者と歯科医師のためのう蝕管理ガイド, バランス: 患者と歯科医師のためのう蝕管理ガイド(書籍名)、クインテッセンス出版株式会社(東京), 40-55, 2016, 11
- 2) 安井利一, 竹下 玲, 松本 勝, 深井智子, 末續真弓, 宮澤 慶, 北 邦宏, BALANCE クインテッセンス出版, 東京, p p 77-85, 2016, 11
- 3) 竹下 玲, 松本 勝, 深井智子, 末續真弓, 宮澤 慶, 北 邦宏 翻訳, In step3: う蝕の特異的なリスク因子の理解, BALANCE, 安井 利一監訳, 第 1 版, クインテッセンス出版株式会社、東京、pp6-21, 2016, 11
- 4) "竹下 玲(安井利一監訳)", "Step 1; う蝕の進行とう窩の形成機序の理解 In バランス: 患者と歯科医師のためのう蝕管理ガイド", バランス: 患者と歯科医師のためのう蝕管理ガイド(書籍名)、クインテッセンス出版株式会社(東京), 1-2, 2016, 11
- 5) "竹下 玲(安井利一監訳)", Step2; 患者のリスクの特定(同定) In バランス: 患者と歯科医師のためのう蝕管理ガイド, バランス: 患者と歯科医師のためのう蝕管理ガイド(書籍名)、クインテッセンス出版株式会社(東京), 3-5, 2016, 11
- 6) "竹下 玲(安井利一監訳)", Step4; う蝕の防御因子の理解 In バランス: 患者と歯科医師のためのう蝕管理ガイド, バランス: 患者と歯科医師のためのう蝕管理ガイド(書籍名)、クインテッセンス出版株式会社(東京), 22-32, 2016, 11

B. 学術論文

1. 原著

- 1) "北 邦宏, 松本 勝, 竹下 玲, 深井 智子, 宮澤 慶, 安井 利一", 模型に対する基底面の角度がマウスガードの厚さに及ぼす影響について, スポーツ歯学 20 巻 2 号, 2017, 2

C. その他の刊行物など

- 1) 末續真弓, ジョイント 4 シンポジウム Work Shop 2016 報告, 口腔衛生関東地方研究会ニュースレターNo.18, 2016, 12

D. 学会発表

2. 全国学会

(3)一般演題

- 1) 末續真弓、田口耕平、宮寄至洋、北村 晃、鈴木普久、小玉 剛、安井利一, 3歳児う蝕有病状況に関する2歳児歯科健康診査の必要性の分析, 第65回日本口腔衛生学会・総会、東京, 2016, 5
- 2) 北邦宏、松本勝、竹下玲、深井智子、宮澤慶、高野梨沙、岡崎由佳、安井利一, カスタムメイドマウスガードの咬合面形態付与における加熱が適合性に及ぼす影響, 第65回日本口腔衛生学会学術大会, 2016, 4
- 3) “北邦宏, 松本勝, 竹下玲, 深井智子, 宮澤慶, 高橋明子, 安井利一”, マウスガードの形状に関する研究 模型の基底面と前歯歯軸との角度の違いがマウスガードの厚さに及ぼす影響について, 第27回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 2016, 6
- 4) 北邦宏、松本勝、竹下玲、深井智子、宮澤慶、高橋明子、安井利一, マウスガードの形状に関する研究, 第27回スポーツ歯科医学, 2016, 6
- 5) 竹下 玲, 広瀬公治, 岡本和彦, 高野安紀子, 西條光雅、小野大地, 鈴木玲爾, 下島孝裕, 大川周治, 安井利一, “骨芽細胞における TNF- α による転写因子 AP-1の誘導とサイトカイン発現における機能的役割”, 第65回日本口腔衛生学会学術大会, 2016, 6
- 6) 宮澤慶、松本勝、竹下玲、深井智子、北邦弘、杉山義祥、安井利一, 歯科衛生士学校学生のスポーツ歯学に関する興味・理解の変化(第2報), 第27回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 2016, 6
- 7) 深井 智子, 自尊感情を高めていく心の健康教育と歯・口の健康づくりの関連性について(第一報; 自尊感情と口腔内の状態の関連性について), 29回明海歯科医学会, 2016, 6

E. その他の研究会、講演など

- 1) 末續真弓, 1歳6か月児の口腔ケアのポイント①, 比企郡(ときがわ町保健センター), 2016, 5
- 2) 末續真弓, 1歳6か月児の口腔ケアのポイント②, 比企郡(ときがわ町保健センター), 2016, 7
- 3) 末續真弓, 1歳6か月児の口腔ケアのポイント③, 比企郡(ときがわ町保健センター), 2016, 9
- 4) 末續真弓, 1歳6か月児の口腔ケアのポイント④, 比企郡(ときがわ町保健センター), 2016, 11
- 5) 竹下 玲, What is CAMBRA? メカニズムから実践へ, CAMBRA 定期予防管理セミナー(主催; 明海大学歯学部生涯研修部・協賛; ㈱ヨシダ・㈱KDP/博報堂)、浦安市(明海大学 PDI 浦安歯科診療所), 2016, 8

- 6) 竹下 玲, う蝕リスクと CANMRA -CAMBRA の意義と理論-, 株式会社ヨシダ社内セミナー(東京本社、台東区), 2016, 6
- 7) 竹下 玲, う蝕予防と CAMBRA の特徴, 久喜・蓮田・白岡 予防歯科スタディグループ (KPSG) 講演会、久喜市(久喜菖蒲工業団地管理センター), 2016, 12
- 8) 末續真弓, 永久歯の生えてくる時期のブラッシングのポイント, 比企郡(ときがわ町保健センター)、よい歯の教室-2, 2017, 3
- 9) 竹下 玲, 高齢者のサルコペニアや誤嚥性肺炎の予防のために～元気なお口のお手入れ方法～, ウエルシア介護サービス(株)主催「専門職セミナー」; ウエルガーデンみずほ台デイサービス(富士見市), 2016, 2
- 10) 竹下 玲, 高齢者の誤嚥性肺炎とサルコペニアの予防のために～元気なお口のお手入れ方法～, ウエルシア介護サービス(株)主催「専門職セミナー」; ウエルガーデン白岡(白岡市), 2016, 2
- 11) 末續 真弓, 年齢ごとの口腔ケアについて, 比企郡(ときがわ町保健センター)、よい歯の教室-1, 2016, 3

スポーツ歯学

C. その他の刊行物など

- 1) “戸田芳雄, 山中龍宏, 安井 利一, 上野 俊明, 松本 勝, 月村直樹, 他 22 名”, 学校でのスポーツ事故を防ぐために, 日本スポーツ振興センター学校安全部, 2016, 3

D. 学会発表

2. 全国学会

(1) 特別講演(教育講演)

- 1) 松本 勝, スポーツデンタルハイジニストに求められるもの, 第 27 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 2016, 6

(3) 一般演題

- 1) 北邦宏、松本勝、竹下玲、深井智子、宮澤慶、高野梨沙、岡崎由佳、安井利一、カスタムメイドマウスガードの咬合面形態付与における加熱が適合性に及ぼす影響, 第 65 回日本口腔衛生学会学術大会, 2016, 4
- 2) “北 邦宏, 松本 勝, 竹下 玲, 深井 智子, 宮澤 慶, 高橋 明子, 安井 利一”, マウスガードの形状に関する研究 模型の基底面と前歯歯軸との角度の違いがマウスガードの厚さに及ぼす影響について, 第 27 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 2016, 6
- 3) 宮澤 慶、松本勝、竹下玲、深井智子、北邦弘、杉山義祥、安井利一、歯科衛生士学校学生のスポーツ歯学に関する興味・理解の変化(第 2 報), 第 27 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 2016, 6
- 4) “権田 知也, 安井 利一, 田中 佑人, 前田 芳信, 松本 勝, 石上 恵一, 武田 友孝, 上野 俊明, 小出 馨”, マウスガード設計・製作の標準化に向けた取り組み 日本スポーツ歯科医学会ワークショップ成果, 第 23 回日本歯科医師学会総会, 2016, 10
- 5) “前田 芳信, 安井 利一, 権田 知也, 松本 勝, 石上 恵一, 武田 友孝, 上野 俊明, 小出 馨, 鷹股 哲也”, 咬合支持の維持・回復は転倒の防止に寄与するか 歯科医学会プロジェクト研究の成果から, 第 23 回日本歯科医師学会総会, 2016, 10
- 6) “松本 勝, 宮澤 慶, 北 邦宏, 安井 利一”, ホットプレートを用いたカスタムメイドマウスガードの作製法に関する検討, 第 27 回日本臨床スポーツ医学会学術大会, 2016, 10

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 菊池 建太郎, 星野 都, 井上 ハルミ, 宮崎 裕司, 山内 雅司, 井出 文雄, 坂下 英明, 草間 薫, High-grade transformation を伴った多型低悪性度腺癌と考えられた 1 例, 第 105 回日本病理学会総会(仙台), 2016, 5
- 2) 勅使河原大輔, 猪野 照夫, 野露 浩正, 日高 達哉, 橋戸 広大, 山内雅司, 藤澤 政紀, 汎用デジタルカメラを用いた顔面形状計測, 日本補綴歯科学会第 125 回学術大会(金沢), 2016, 7
- 3) 宮崎 裕司, 菊池建太郎, 井上ハルミ, 山内雅司, 草間 薫, 口腔癌進展へのセマフォリンの関与, 第 27 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会(広島), 2016, 8
- 4) 古谷貴彦, 山内雅司, Maximal rigid objects in an orbit category arising from a tube , RIMS 研究集会「有限群のコホモロジー論とその周辺」, 京都大学数理解析研究所, 京都, 2017, 2

障がい者歯科学

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) “吉田和市, 飯島毅彦, 今村佳樹, 大井良之, 大野由夏, 岡俊一, 岡田明子, 河原博, 小長谷光, 谷口省吾, 森本佳成, 大上沙央理, 牧野兼三”, “3 局所麻酔法 D 血管収縮薬. In: 「歯科麻酔・生体管理学第2版」, 吉田和市編”, “学建書院, 東京, pp77-78”, 2016, 3

B. 学術論文

1. 原著

- 1) “鈴木佐知子, 黒田翔太, 上杉典子, 今村敏克, 高木沙央理, 大野由夏, 牧野兼三, 長坂浩, 小長谷光”, Williams 症候群の全身麻酔下歯科治療における周術期管理の1症例, 日本歯科麻酔学会雑誌 44-2 201-203, 2016, 4

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) “星島 宏, 竹内 梨紗, 西澤秀哉, 伊藤直樹, 長坂浩, 内田茂則, 高木沙央理, 大野 由夏, 小長谷光, 大野聖加, 小林克江, 牧野兼三, 栗原淳”, C-MAC ビデオ喉頭鏡とマッキントシュ型喉頭鏡の挿管確率に対する比較 メタアナリシス, 第44回 日本歯科麻酔学会、札幌, 2016, 9
- 2) “斎藤智彦, 今村敏克, 内田茂則, 高木沙央理, 大野由夏, 小長谷光, 牧野兼三, 小林 克江”, paperChart ワークショップ・ハンズオンセミナー, 第44回日本歯科麻酔学会, 札幌, 2016, 10
- 3) “斎藤智彦, 今村敏克, 内田茂則, 高木沙央理, 大野由夏, 小長谷光, 牧野兼三, 小林克江”, paperChart ワークショップ・ハンズオンセミナー, 第26回 日本有病者歯科医療学会総会・学術大会、金沢, 2017, 3
- 4) “高島恵子, 松本勝洋, 久保英範, 上杉典子, 鈴木佐知子, 黒田翔太, 早川華穂, 小林克江, 牧野兼三, 内田茂則, 高木沙央理, 大野由夏, 長谷川彰彦, 長坂浩, 小長谷光”, チューブエクステンジャーを口腔外に引き寄せて挿入する経鼻挿管, 第44回 日本歯科麻酔学会、札幌, 2016, 9
- 5) “久保 英範, 高島 恵子, 野露 紘子, 松本 勝洋, 内田 茂則, 小林 克江, 牧野 兼三, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光”, 口腔内診査および術前検査のために薬物的行動調整が必要であった1症例, 第33回 障害者歯科学会(埼玉), 2016, 9
- 6) “高木 沙央理, 大野 由夏, 小林 克江, 長坂 浩, 小長谷 光”, 精神性発汗量測定

- のストレスイベント予測モニターとしての有用性, 第 36 回 日本臨床麻酔学会 (高知), 2016, 10
- 7) “高木沙央理, 原田達也, 今村敏克, 小林克江, 牧野兼三, 星島宏, 久保英範, 内田茂則, 大野由夏, 長坂浩, 小長谷光”, 静脈麻酔下歯科治療における SpO₂ 低下イベントへの影響因子の検討, 第 44 回 日本歯科麻酔学会、札幌, 2016, 9
 - 8) “高橋正人, 牧野兼三, 高木沙央理, 大野由夏, 小長谷光”, 脳性麻痺患者の全身麻酔覚醒後に血圧および経皮的動脈血酸素飽和度の著明な低下を認めた一症例, 第 44 回 日本歯科麻酔学会、札幌, 2016, 9
 - 9) 高島恵子、松本勝洋、上杉典子、今村敏克、久保英範、内田茂則、小林克江、牧野兼三、高木沙央理、大野由夏、小長谷光, 肺 MAC (Mycobacterium avium complex) 症患者に対して全身麻酔管理を行った 2 症例の手術室における感染対策, 第 33 回 関東臨床歯科麻酔懇話会、東京, 2016, 6
 - 10) “大野由夏, 久保英範, 松本勝洋, 黒田 翔太, 早川華穂, 内田茂則, 青木沙央理, 牧野兼三, 長坂浩, 小長谷光”, 非侵害温刺激と非侵害冷温同時刺激は conditioned pain modulation を誘発した, 第 50 回 日本ペインクリニック学会、横浜, 2016, 6
 - 11) 牧野兼三, 明海大学障がい者歯科外来の現状と静脈内鎮静法・深鎮静, “平成 28 年度障がい者児の健口推進関係者ミーティング, 埼玉”, 2017, 1
 - 12) “久保英範, 今村敏克, 松本勝洋, 高島恵子, 小宅宏史, 牧野兼三, 小林克江, 西澤秀哉, 星島宏, 内田茂則, 高木沙央理, 大野由夏, 長坂浩, 長谷川彰彦, 小長谷 光”, 冷温交互刺激で生じる錯感覚と条件刺激性疼痛調節との関連, 第 44 回 日本歯科麻酔学会、札幌, 2016, 9

E. その他の研究会、講演など

- 1) “今村 敏克, 大上 沙央理, 大野 由夏, 内田 茂則, 小長谷 光, 牧野 兼三, 小林 克江, 岸田全人, 長坂浩”, 明海大学歯学部 B L S 講習会救急医学会認定コース, 明海大学 附属明海大学病院, 2016, 2

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 古谷貴彦, 山内雅司, Maximal rigid objects in an orbit category arising from a tube, RIMS 研究集会「有限群のコホモロジー論とその周辺」, 京都大学数理解析研究所, 京都, 2017, 2

総合臨床医学講座

内 科 学 分 野

眼 科 学 分 野

内科学

B. 学術論文

3. 症例報告

- 1) 藤原敬子, 森一将, 長谷川彰彦, 嶋田淳: 扁平上皮癌下顎骨辺縁切除術施行時にへパリンブリッジ法を併用した1例. 有病者歯科医療, 25, 285-290, 2016, 10

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 高島恵子, 松本勝洋, 久保英範, 上杉典子, 鈴木佐知子, 黒田翔太, 早川華穂, 小林克江, 牧野兼三, 内田茂則, 高木沙央理, 大野由夏, 長谷川彰彦, 長坂浩, 小長谷光: チューブエクスチェンジャーを口腔外に引き寄せて挿入する経鼻挿管. 第44回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 札幌, 2016, 10
- 2) 久保英範, 今村敏克, 松本勝洋, 高島恵子, 小宅宏史, 牧野兼三, 小林克江, 西澤秀哉, 星島 宏, 内田茂則, 高木沙央理, 大野由夏, 長谷川彰彦, 長坂 浩, 小長谷 光: 冷温交互刺激で生じる錯感覚と条件刺激性疼痛調節との関連. 第44回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 札幌, 2016, 10
- 3) 井上勝元, 鈴木正二, 長谷川彰彦, 坂下英明: 抗血栓薬服用中患者の口腔外科手術の際へパリンブリッジを行った症例の検討. 第26回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 金沢, 2017, 3

眼科学

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 古賀紀子, 斜視、弱視、遮蔽試験、立体視, 第38回コ・メディカル講習会, 2016, 2

特別研究室

M P L

(Meikai Pharmaco-Medical Laboratory)

M P L

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 坂上 宏, 第8章ポリフェノール類の抗腫瘍作用—in vitro 評価法を用いた網羅的検証, ポリフェノール: 機能性成分研究開発の最新動向(監修: 波多野 力、下田 博司)、シーエムシー出版, 2016, 6
- 2) Garcia-Contreras R, Scougall-Vilchis RJ, Contreras-Bulnes R, Masahiro Sugimoto M, Nakajima H and Sakagami H, Chapter 3. Effect of titanium dioxide nanoparticle on proliferation, drug-sensitivity, inflammation and metabolomic profiling of human oral cells, Volume XI: NanoBioMaterials in Dentistry. Applications of Nanobiomaterials Volume 11. Edited by Grumezescu AM, Elsevier pp49-77, 2016 July (Total 497 pages) ISBN: 978-0-323-42867-5, 2016, 7
- 3) 友村 美根子、第17章 生化学実験 In: スタンダード生化学・口腔生化学 第3版(編集: 池尾隆、加藤靖正、近藤信夫、自見英治郎、鈴木直人、平塚浩一、友村明人)、学建書院、東京、p360-363, 2016, 4

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Orabi MA, Taniguchi S, Sakagami H, Yoshimura M, Amakura Y and Hatano T, Hydrolyzable tannins of tamaricaceous plants. 7.1. Structures and cytotoxic properties of oligomeric ellagitannins from leaves of *Tamarix nilotica* and cultured Tissues of *Tamarix tetrandra*, J Nat Prod. 79(4):984-995, 2016, 4
- 2) Sakagami H, Sheng H, Ono K, Komine Y, Miyadai T, Terada Y, Nakada D, Tanaka S, Matsumoto M, Yasui T, Watanabe K, Junye J, Natori T, Suguro-Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T, Anti-halitosis effect of toothpaste supplemented with alkaline extract of the leaves of *Sasa senanensis* Rehder, In Vivo 30(2): 107-111, 2016, 3-4
- 3) Kato T, Segami N and Sakagami H, Anti-inflammatory activity of hangeshashinto in IL-1 β -stimulated gingival and periodontal ligament fibroblasts, In Vivo 30(3):257-264, 2016, 5-6
- 4) Panda AK, Das U, Roayapalley PK, Sakagami H, Kawase M, Balzarini J, De Clercq E, Dimmock JR. Niacin esters of chalcones with tumor-selective properties. J Enzyme Inhib Med Chem. 2016 Dec;31(6):1451-1456, 2016.2 doi:

10. 3109/14756366. 2016. 1144595.
- 5) Sakagami H, Fukuchi K, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Natori T, Suguro-Kitajima M, Oizumi H, Yasui T and Oizumi T, Synergism of alkaline extract of the leaves of *Sasa senanensis* rehd. and antiviral agents, *In Vivo*. 30(4): 421-426, 2016, 7
 - 6) Unluer E, Gul HI, Demirtas A, Sakagami H, Umemura N, Tanc M, Kazaz C and Supuran CT, Synthesis and bioactivity studies of 1-aryl-3-(2-hydroxyethylthio)-1-propanones. *J Enzyme Inhib Med Chem*. 2016;31(sup3):105-109. Epub 2016 Jul 19.
 - 7) Kucukoglu K, Oral F, Aydin T, Yamali C, Algul O, Sakagami H, Gulcin I, Supuran CT and Gul HI, Synthesis, cytotoxicity and carbonic anhydrase inhibitory activities of new pyrazolines", *J Enzyme Inhib Med Chem*. 31(sup4):20-24, 2016. 8.
 - 8) Umemura N, Ohkoshi E, Tajima M, Kikuchi H, Katayama T and Sakagami H, Hyaluronan induces odontoblastic differentiation of dental pulp stem cells via CD44. *Stem Cell Res Ther*. 2016;7:135. doi: 10.1186/s13287-016-0399-8. PMID: 27651223, 2016, 9
 - 9) Tomikoshi Y, Nomura M, Okudaira N, Sakagami H and Wakabayashi H, Enhancement of cytotoxicity of three apoptosis-inducing agents against human oral squamous cell carcinoma cell line by benzoxazinotropone. , *In Vivo* 30(5): 645-650, 2016, 9
 - 10) Yamali C, Gul HI, Sakagami H and Supuran CT, Synthesis and bioactivities of halogen bearing phenolic chalcones and their corresponding bis Mannich bases, *J Enzyme Inhib Med Chem*. 31(sup4)125-131, 2016. 9.
 - 11) Sharma G, Saito T, Asada A, Ando K, Tomomura M, Hisanaga SI, The kinase activity of endosomal kinase LMTK1A regulates its cellular localization and interactions with cytoskeletons, *Genes Cells*. 21(10):1080-1094, 2016, 10
 - 12) Gul IH, Yamali C, Yasa TA, Unluer E, Sakagami H, Tanc M and Supuran CT, Carbonic anhydrase inhibition and cytotoxicity studies of Mannich base derivatives of thymol, *J Enzyme Inhib Med Chem*, 31(6):1375-1380, 2016, 10
 - 13) Uesawa Y, Sakagami H, Kagaya H, Yamashita M, Takao K and Sugita Y: Quantitative structure-cytotoxicity relationship of 3-benzylidenechromanones., *Anticancer Res* 36 (11) 5803-5812, 2016, 11
 - 14) Suzuki R, Matsushima Y, Okudaira N, Sakagami H and Shirataki Y, Cytotoxic components against human oral squamous cell carcinoma isolated from *Andrographis paniculata*, *Anticancer Res* 36 (11) 5931-5935, 2016, 11

- 15) Fukuchi K, Okudaira N, Adachi K, Odai-Ide R, Watanabe S, Ohno H, Yamamoto M, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Uesawa Y, Kagaya H and Sakagami H, Antiviral and antitumor activity of licorice root extracts. , *In Vivo* 30(6):777-785, 2016, 11
- 16) Gul HI, Mete E, Eren SE, Sakagami H, Yamali C and Supuran CT, Designing, synthesis and bioactivities of 4-[3-(4-hydroxyphenyl)-5-aryl-4, 5-dihydro-pyrazol-1-yl]benzene sulfonamides. ", *J Enzyme Inhib Med Chem.* 32(1): 169-175, 2017.1.
- 17) Gul HI, Yamali C, Yesilyurt F, Sakagami H, Kucukoglu K, Gulcin I, Gul M and Supuran CT, Microwave-assisted synthesis and bioevaluation of new sulfonamides, *J Enzyme Inhib Med Chem* 32(1):369-374, 2017, 1
- 18) Masuda Y, Yokose S and Sakagami H, Gene expression analysis of cultured rat-endothelial cells after Nd:YAG laser irradiation by Affymetrix GeneChip Array, *In Vivo* 31(1):51-54, 2017, 1
- 19) Shimozu Y, Kimura Y, Esumi A, Aoyama H, Kuroda T, Sakagami H, Hatano T, Ellagitannins of *Davidia involucrata*. I. Structure of Davicratinic Acid A and Effects of *Davidia* Tannins on Drug-Resistant Bacteria and Human Oral Squamous Cell Carcinomas, *Molecules.* 2017 Mar 15;22(3). pii: E470. doi: 10.3390/molecules22030470. PMID: 28294988, 2017, 3
- 20) Sakagami H, Okudaira N, Masuda Y, Amano O, Yokose S, Kanda Y, Suguro M, Natori T, Oizumi H and Oizumi T, Induction of Apoptosis in human oral keratinocyte by doxorubicin. , *Anticancer Res* 37(3):1023-1029, 2017, 3
- 21) Sakagami H, Masuda Y, Tomomura M, Yokose S, Uesawa Y, Ikezoe N, Asahara D, Takao K, Kanamoto T, Terakubo S, Kagaya H, Nakashima H and Sugita Y, Quantitative structure-cytotoxicity relationship of chalcones, *Anticancer Res* 37, 1091-1098, 2017, 3
- 22) Yamali C, Gul HI, Ozgun DO, Sakagami H, Umemura N, Kazaz C and Gul M, Synthesis and cytotoxic activities of difluoro-dimethoxy chalcones, *Anticancer Agents Med Chem.* 17: 2017 Mar 27. doi: 10.2174/1871520617666170327123909. [Epub ahead of print] PMID: 28356013, 2017, 3

2. 総説

- 1) Sakagami H, Sheng H, Okudaira N, Yasui T, Wakabayashi H, Jia J, Natori T, Suguro-Kitajima M, Oizumi H, Oizumi T, Prominent anti-UV activity and possible cosmetic potential of Lignin-carbohydrate complex. *In VIVO*, 30,

C. その他の刊行物など

- 1) 友村美根子, 破骨細胞形成におけるリナカンチン C の抑制作用の分子メカニズム, 基盤研究 (C) 25462898 最終報告書, 2016, 6
- 2) 坂上 宏、生宏、大石隆介, 国際的コミュニケーション能力の重要性—語学力は強力な武器になる—, New Food Industry 58 (7): 81-94, 2016, 7
- 3) 大石隆介、坂上 宏, “国際的コミュニケーション能力の重要性 (2)—外向き志向への切り替え—”, New Food Industry 58(8): 72-79, 2016, 8
- 4) 福地邦彦、坂上 宏、安井利一、金本大成、寺久保繁美、中島秀喜、勝呂まどか、名取威徳、大泉浩史、大泉高明, ササヘルスの卓越した抗ウイルス活性, New Food Industry 58(12): 23-32, 2016, 12
- 5) 坂上宏、勝呂まどか、名取威徳、大泉浩史、大泉高明, クマザサ葉アルカリ抽出液 (ササヘルス R) の卓越した紫外線防護効果, New Food Industry 59(1): 55-62, 2017
- 6) 植沢芳広、福地邦彦、大野裕和、山本正次、加賀谷肇、坂上宏, 甘草フラボノイドの抗ヘルペスウイルス活性は、構造的・物理化学的特徴に依存する。New Food Industry 59(2): 47-52, 2017, 2
- 7) 増田宜子、横瀬敏志、坂上宏, 美味しく食べるための歯の根管治療 - 根管形態-, New Food Industry 59(2): 73-77, 2017, 2
- 8) 宮田了 (英語版への翻訳: 坂上宏), 中国料理に魅せられて—南国酒家の創業に至るまでの道程 Charmed by Chinese Cooking. The road up to the Establishment of Nangokusyuka Chinese restaurant, New Food Industry 59(3): 71-74, 2017, 3H, 中国の食材 食効・薬効 No. 5
- 9) 坂上 宏、MPL 創立 18 年記念誌—天然物 (生薬) や化学合成した化合物から人類の健康に役立つ物質の探索を目指して、リュウワ印刷。2017. 1.
- 10) 坂上宏、坂上宏教授退任記念業績集、リュウワ印刷、2017. 3.

D. 学会発表

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 下津 祐樹, 大島睦美, 坂上宏, 波多野力, “生薬アセンヤクの基原植物 *Uncaria gambir* 中のアルカロイド—カテキン—ハイブリッド化合物の研究, 第 21 回 天然薬物の開発と応用シンポジウム、千葉大学薬学部 120 周年記念講堂, 2016, 10

(3) 一般演題

- 1) 深見 聡、鈴木 龍一郎、友村美根子、友村 明人、坂上宏、白瀧 義明：骨芽細胞を分化促進させる生薬の探索，第 63 回 日本生薬学会(富山) 2016, 9
- 2) 友村美根子、坂東 健二郎，鈴木龍一郎，白瀧義明，坂上 宏，友村明人：骨芽細胞と破骨細胞におけるグラニルゲラニオールの効果，第 89 回 日本生化学会大会(仙台) 2016, 9
- 3) 駒木圭介、池田識人、高野哲也、友村美根子、浅田朋子、斉藤太郎、安藤香奈絵、久永眞市， β セクレターゼ(BACE1)の細胞内輸送における Lemur kinase1A(LMTK)の役割：第 39 回日本分子生物学会年会 (神戸)2016, 12
- 4) 杉山亜梨華、高橋路佳、魏 冉、福田公子、友村美根子、安藤香奈絵、久永眞市：小胞体輸送を制御する脳キナーゼ LMTK 1 の膜貫通型と非膜貫通型アイソフォームの発現と機能解析，第 39 回日本分子生物学会年会(神戸)2016, 12
- 5) 川口祥子、坂東健二郎、田村暢章、友村美根子、友村明人、嶋田 淳：LPS 誘導性破骨細胞分化に対するカルデクリンの効果，第 39 回日本分子生物学会年(神戸)2016, 12

3. 地方会

(3)一般演題

- 1) 植沢芳広、坂上宏、山下毬藻、高尾浩一、杉田義昭，3-Benzylidenechromanones の定量的構造 - 細胞傷害性相関解析，第134回日本薬理学会関東部会、国際医療福祉大学薬学部、大田原市、栃木，2016, 7
- 2) 坂上宏、福地邦彦、金本大成、寺久保繁美、中島秀喜、名取威徳、勝呂・北嶋まどか、大泉浩史、安井利一、大泉高明，クマザサ葉アルカリ抽出液と抗ウイルス剤との相乗作用，第134回日本薬理学会関東部会、国際医療福祉大学薬学部、大田原市、栃木，2016, 7
- 3) 坂上 宏、増田宣子、奥平准之、勝呂まどか、名取威徳、大泉浩史、大泉高明，ササヘルスの細胞保護効果(1)：抗癌剤の副作用に対して，第135回日本薬理学会関東部会、浜松医科大学、静岡，2016, 10
- 4) 植沢 芳広、福地 邦彦、坂上 宏、加賀谷 肇、大野裕和、山本正次，甘草含有成分の抗ヘルペスウイルス活性に対する定量的構造活性相関解析，第135回日本薬理学会関東部会、浜松医科大学、静岡，2016, 10
- 5) 加藤沙友里、下津祐樹、波多野力、坂上 宏，Hamamelis \times intermediaの成分研究(第2報)，第55回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会，2016, 11
- 6) 前野ひとみ、西岡弘美、黒田照夫、森田大地、波多野力、坂上宏、竹内靖雄，抗腫瘍活性・抗MRSA活性を志向したケルセチン配糖体の合成，第55回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会，2016, 11

E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂上宏、最終講義、口腔疾患治療薬の開発をめざしてー将来展望と次世代へのメッセージー、明海大学歯学部大講義室 No. 3、2017, 3. 23.

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 坂上宏(代表)、新規 3-スチリルクロモン誘導体の口腔癌治療薬としての可能性に関する基礎研究、16K11519、2016. 4. 1. 2)
- 2) 友村美根子(代表)、骨吸収と骨形成を相反的に制御するグラニルゲラニオールの作用解明と骨粗鬆症への応用、16K11487、2016. 4. 1. 2)